



PROFESSIONAL DIGITAL TWO-WAY RADIO

**MOTOTRBO™**

**XiR P6620/XiR P6620i**

**LIMITED KEYPAD PORTABLE RADIO**

---

## USER GUIDE

en-US

zh-CN

ja-JP

ko-KR

id-ID



**OCTOBER 2021**

© 2021 Motorola Solutions, Inc. All rights reserved.



**MN003671A01-AK**

# 目次

重要な安全情報.....	9	2.9 音量の調節.....	23
ソフトウェア バージョン.....	10	章 3 : 無線機コントロール.....	24
知的財産および規制に関するご注意.....	11	3.1 プログラム可能ボタン.....	25
コンピュータ ソフトウェア著作権.....	13	3.1.1 指定可能な無線機機能.....	25
無線機のお手入れ.....	14	3.1.2 指定可能な設定またはユーティリティ機能.....	27
防爆無線機.....	16	3.1.3 プログラムされた機能へのアクセス.....	28
章 1 : はじめに.....	17	3.2 プッシュアウトトーク ボタン.....	28
1.1 アイコン情報.....	17	3.3 従来型アナログおよびデジタル モード.....	29
章 2 : はじめに.....	18	章 4 : ステータス インジケータ.....	30
2.1 バッテリーの充電.....	18	4.1 アイコン.....	30
2.2 電池パックの取り付け.....	18	4.2 LED インジケータ.....	33
2.3 アンテナの取り付け.....	20	4.3 トーン.....	35
2.4 キャリング ホルスターの取り付け.....	21	4.3.1 オーディオ トーン.....	35
2.5 ユニバーサル コネクタ カバー (ダスト カバー) の取り付け.....	21	4.3.2 インジケータ トーン.....	35
2.6 アクセサリー コネクタの取り付け.....	22	章 5 : ゾーンとチャネルの選択.....	37
2.7 無線機の電源のオン.....	22	5.1 ゾーンを選択.....	37
2.8 無線機の電源のオフ.....	23	5.2 チャネル選択.....	38
		章 6 : 通信.....	39

6.1 グループ通話.....	40	6.5.5 一斉コールとして電話通話への 応答 	51
6.1.1 グループ通信の発信.....	40	6.6 通話割り込みの開始 	51
6.1.2 グループ通信への応答.....	40	6.7 ブロードキャスト音声通信 .....	52
6.2 個別通信 	41	6.7.1 ブロードキャスト音声通話の発 信 .....	52
6.2.1 個別通信の発信 .....	42	6.7.2 ブロードキャスト音声通話の受 信 .....	53
6.2.2 個別通信への応答.....	42	6.8 未アドレス通信 .....	53
6.3 一斉コール.....	43	6.8.1 未アドレス通話の発信.....	54
6.3.1 一斉通信の受信.....	43	6.8.2 未アドレス通話への応答.....	54
6.3.2 一斉コールの発信.....	44	6.9 オープン音声チャンネル モード (OVCM) .....	55
6.4 選択コール 	45	6.9.1 OVCM コールの発信.....	55
6.4.1 選択コールの発信.....	45	6.9.2 OVCM コールへの応答.....	56
6.4.2 選択コールへの応答 	45	章 7 : 高度な機能.....	58
6.5 電話通話 	46	7.1 ダイレクト モード.....	58
6.5.1 電話通話の発信 	47	7.1.1 リピータとダイレクト モードの 切り替え.....	58
6.5.2 プログラム可能な [TEL] ボタンで 電話通話を行う 	48	7.2 モニタ機能 .....	59
6.5.3 グループ コールとして電話通話 への応答 	49	7.2.1 チャンネルのモニタ.....	59
6.5.4 個別コールとして電話通話への 応答 	50		

7.2.2 連続モニタ.....	59	7.6.2 スキャン リストへの新規エントリの追加.....	68
7.2.2.1 連続モニタのオンとオフの切り替え.....	59	7.6.3 スキャン リストからのエントリの削除.....	69
7.3 ホーム チャンネル リマインダ.....	60	7.6.4 スキャン リストのエントリに対して優先度を設定する.....	70
7.3.1 ホーム チャンネル リマインダのミュート.....	60	7.7 スキャン.....	71
7.3.2 新しいホーム チャンネルの設定.....	61	7.7.1 スキャンのオンとオフの切り替え.....	71
7.4 リモート モニタ.....	61	7.7.2 スキャン中の送信への応答.....	72
7.4.1 リモート モニタの開始.....	62	7.7.3 迷惑チャンネルの削除.....	73
7.4.2 連絡先リストを使用したリモート モニタの開始.....	63	7.7.4 迷惑チャンネルの復元.....	73
7.4.3 ダイアルを使用したリモート モニタの開始.....	64	7.8 投票スキャン  .....	73
7.5 無線機チェック  .....	66	7.9 連絡先設定.....	74
7.5.1 無線機チェックの送信  .....	66	7.9.1 連絡先リストを使用したグループ コールの発信.....	75
7.5.2 連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する  .....	66	7.9.2 連絡先リストを使用した個別通信の発信.....	75
7.6 スキャン リスト.....	67	7.9.3 既定の連絡先の設定  .....	76
7.6.1 スキャン リスト内のエントリが表示.....	68	7.10 通話インジケータ設定.....	77

7.10.1 着信音のオンとオフの切り替え (ページング用).....	77	7.12.3 通話リストの詳細の表示  .....	86
7.10.2 着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用)  .....	78	7.13 ページング操作.....	87
7.10.3 着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用)  .....	78	7.13.1 ページングへの応答.....	87
7.10.4 着信音のオンとオフの切り替え (テキスト メッセージ用)  .....	79	7.13.2 連絡先リストを使用したページ ングの発信.....	88
7.10.5 着信音スタイルの割り当て.....	80	7.13.3 ページングの発信.....	89
7.10.6 アラート タイプの選択.....	81	7.14 ミュート モード.....	89
7.10.7 バイブの強さの設定.....	82	7.14.1 ミュート モードの有効化.....	89
7.10.8 アラーム トーンの音量を上げる .....	83	7.14.2 ミュート モード タイマーの設 定.....	90
7.11 動的な発信者のエイリアス.....	84	7.14.3 ミュート モードの終了.....	90
7.11.1 発信者のエイリアス リストを表 示する.....	84	7.15 緊急操作.....	91
7.11.2 個別コールを発信者のエイリア ス リストから開始.....	84	7.15.1 緊急アラームの送信.....	92
7.12 通話履歴機能.....	85	7.15.2 通話による緊急アラームの送信..	93
7.12.1 最近の通話の表示.....	85	7.15.3 音声ガイドおよび緊急アラーム..	95
7.12.2 通話リストからの通話の削除  ..	86	7.15.4 緊急アラームと音声ガイドの送 信  .....	95
		7.15.5 緊急アラームの受信.....	96
		7.15.6 緊急モードの再開.....	97

7.15.7 緊急アラーム送信後の緊急モードの終了.....	97	7.17 アナログ ステータス更新 (A).....	106
7.16 テキスト メッセージング .....	98	7.17.1 定義済み連絡先へのステータス更新の送信 (A).....	107
7.16.1 クイック テキスト メッセージの送信 (A).....	98	7.17.2 5 トーン ステータスの詳細の表示 .....	108
7.16.2 テキスト メッセージの再送信.....	99	7.18 アナログメッセージエンコード.....	108
7.16.3 テキスト メッセージの転送 (A).....	100	7.18.1 ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信 (A).....	108
7.16.4 送信済みテキスト メッセージの表示 (A).....	101	7.18.2 連絡先への 5 トーン エンコードメッセージの送信 (A).....	109
7.16.5 送信済みテキスト メッセージの送信 (A).....	102	7.19 既定の 5 トーンによる連絡先の設定.....	110
7.16.6 送信 BOX フォルダからのすべての送信済みテキスト メッセージの削除 .....	102	7.20 5 トーン通話の発信.....	111
7.16.7 テキスト メッセージへの応答 (A).....	103	7.20.1 5 トーン通話の受信.....	112
7.16.8 テキスト メッセージの表示.....	104	7.20.2 5 トーン緊急アラームの送信.....	112
7.16.9 受信 BOX からのテキスト メッセージの削除.....	105	7.20.3 5 トーン緊急アラームと音声ガイドの送信.....	113
7.16.10 受信 BOX からのすべてのテキスト メッセージの削除 (A).....	106	7.20.4 5 トーン緊急アラームの受信.....	114
		7.21 プライバシ (A).....	114
		7.21.1 秘話モードのオンとオフの切り替え (A).....	115
		7.22 応答禁止.....	116

7.22.1 応答禁止の有効化または無効化	116	7.26 通知リスト	128
7.23 セキュリティ	117	7.26.1 通知リストへのアクセス	128
7.23.1 無線機の無効化	117	7.27 オートレンジ トランスポンダ システム	129
7.23.2 連絡先リストを使用した無線機の無効化	118	7.28 エア接続プログラミング	129
7.23.3 ダイアルを使用した無線機の無効化	119	章 8 : ユーティリティ	131
7.23.4 無線機の有効化	120	8.1 キー ロック オプション	131
7.23.5 連絡先リストを使用した無線機の有効化	121	8.1.1 キー ロック オプションの有効化	131
7.23.6 ダイアルを使用した無線機の有効化	122	8.1.2 キー ロック オプションの無効化	131
7.24 ローン ワーカー	124	8.2 スケルチ レベル	132
7.25 パスワード ロック	124	8.2.1 スケルチ レベルの設定	132
7.25.1 パスワードを使用した無線機へのアクセス	124	8.3 出力レベル	133
7.25.2 ロック状態の無線機をロック解除する	125	8.3.1 出力レベルの設定	133
7.25.3 パスワード ロックのオンとオフの切り替え	126	8.4 表示輝度の調整	134
7.25.4 パスワードの変更	127	8.5 音声起動送信	134
		8.5.1 音声起動送信のオンとオフの切り替え	135
		8.6 ディスプレイ バックライト タイマーの設定	136

8.7 無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え.....	137
8.8 パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え.....	138
8.9 トーン/アラートのボリューム オフセットレベルの設定.....	138
8.10 通話許可トーンのオンとオフの切り替え.....	139
8.11 言語の設定.....	140
8.12 LED インジケータのオンとオフの切り替え.....	140
8.13 初期画面のオンとオフの切り替え.....	141
8.14 音声ガイドのオンとオフの切り替え.....	142
8.15 自動通話転送のオンとオフの切り替え.....	143
8.16 カメラ メニュー タイマー.....	143
8.17 アナログ マイク AGC のオンとオフの切り替え.....	144
8.18 デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え.....	145
8.19 インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え.....	146

8.20 ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え.....	147
8.21 一般無線機情報.....	147
8.21.1 バッテリ情報へのアクセス.....	148
8.21.2 無線エイリアスと ID のチェック.....	148
8.21.3 ファームウェアとコードプラグのバージョン チェック.....	149
8.21.4 ソフトウェア更新情報のチェック.....	150
8.22 受信信号強度インジケータ.....	150
8.22.1 RSSI 値の表示.....	150
8.23 正面パネル プログラミング.....	151
章 9 : 認定アクセサリ リスト.....	152

## 重要な安全情報

### RF Energy Exposure and Product Safety Guide for Portable Two-Way Radios



注意：

この無線機は業務用の利用に限定されています。本無線機をご使用になる前に、『携帯型業務用無線機の電磁波エネルギー被曝および製品の安全性に関するガイド』をよくお読みください。安全にお使いいただくための取り扱い方法と、電磁波エネルギーについての重要な説明が記載されています。また、電磁波エネルギー被曝限度についての該当基準および法規制に対する適合情報も記載されています。

タイで利用可能なモデル：

อุปกรณ์โทรคมนาคมนี้ได้ปฏิบัติตามข้อกำหนดของคณะกรรมการกิจการ

โทรคมนาคมแห่งชาติ

この通信機器は、National Telecommunications Commission  
の要件に適合しています。

## ソフトウェア バージョン

---

以下の項で説明されているすべての機能が、ソフトウェアバージョン **R02.21.01.0000** 以降でサポートされます。

詳細については、販売店または管理者にお問い合わせください。

# 知的財産および規制に関する ご注意

---

## 著作権

本書に記載されている Motorola Solutions 製品には、著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。従って、本書で説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可なしに、いかなる方法においても複製または再生してはなりません。

本書のいかなる部分についても、いかなる形式であろうと、いかなる手段によっても、Motorola Solutions, Inc. からの事前の書面による許可なしに複製、伝送、情報検索システムへの格納、あらゆる言語への翻訳、コンピュータ言語への変換をしてはいけません。

## 商標

MOTOROLA、MOTO、MOTOROLA SOLUTIONS、および図案化された M ロゴは、Motorola Trademark Holdings, LLC の商標または登録商標であり、ライセンスの下に使用されます。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。

## ライセンスの権利

Motorola Solutions 製品の購入は、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によって、Motorola Solutions の著作権、特許または特許申請の対象となる一切のライセンスを付与するものとはみなされません。ただし、製品の販売において法の運用によって生ずる通常の非独占的、ロイヤルティ不要の使用ライセンスについては、この限りではありません。

## オープン ソース コンテンツ

この製品には、ライセンスの下に使用されるオープン ソース ソフトウェアが含まれている場合があります。オープン ソースの法的通知および帰属の内容については、製品のインストール メディアを参照してください。

## 欧州連合 (EU) の電気電子廃棄物 (WEEE) 指令



■ 欧州連合の WEEE 指令では、EU 諸国に販売される製品 (場合によってはパッケージ) にゴミ箱への投入禁止ラベルを貼ることを要求しています。

WEEE 指令で規定されるとおり、このゴミ箱への投入禁止ラベルは、EU 諸国の顧客とエンドユーザーが、電気および電子機器またはアクセサリを生活廃棄物として廃棄してはならないことを意味します。

EU 諸国の顧客またはエンドユーザーは、自国の廃棄物収集システムについて、地元の機器販売代理店またはサービスセンターに問い合わせる必要があります。

### 免責条項

特定のシステムに対して、本書で説明する特定の機能、設備、性能が適用されない、またはライセンス付与されない場合や、特定のモバイル加入者ユニットの特性や特定のパラメータの設定に依存する場合があることに注意してください。詳細については、Motorola Solutions の担当者にご確認ください。

© 2021 Motorola Solutions, Inc. All Rights Reserved

## コンピュータ ソフトウェア著作権

本マニュアルに記載されている Motorola Solutions 製品には、半導体メモリやその他メディアに保管されている著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムが含まれている場合があります。米国およびその他諸国の法律で、著作権取得済みのコンピュータ プログラムの一定の独占権が Motorola Solutions のために保護されています。この際、著作権取得済みコンピュータ プログラムのあらゆる形態での複製または再生の独占権が含まれますが、これに限定されません。したがって、本マニュアルで説明される Motorola Solutions 製品に含まれるいかなる著作権取得済み Motorola Solutions コンピュータ プログラムも、Motorola Solutions からの書面による明示的な許可を得なければ、いかなる方法においても複製、再生、修正、リバース エンジニアリング、配信できません。さらに、Motorola Solutions 製品を購入しても、直接的あるいは黙示的、禁反言的、またはその他の方法によっても、Motorola Solutions の著作権、特許、または特許出願の対象となるライセンスは、一切付与されません。ただし、製品の販売において法の運用によって生じる通常の非独占的な使用ライセンスについては、この限りではありません。

本製品に組み込まれている AMBE+2™ 音声コーディング技術は、Digital Voice Systems, Inc. の特許、著作権、企業秘密を含む知的所有権で保護されています。

この音声コーディング技術は、この通信機器の範囲内での使用のみを対象にライセンス付与されています。この技術を使用するユーザーは、オブジェクト コードを逆コンパイル、リバース エンジニアリング、逆アセンブルしようと試みることを、またはいかなる方法においてもオブジェクト コードを人間が読み取り可能な形式に変換しようと試みることを明確に禁じています。

米国特許番号 #5,870,405、#5,826,222、#5,754,974、#5,701,390、#5,715,365、#5,649,050、#5,630,011、#5,581,656、#5,517,511、#5,491,772、#5,247,579、#5,226,084 および #5,195,166。

## 無線機のお手入れ

このセクションでは、無線機の基本的な使用上のご注意について説明します。

表 1: IP 仕様

IP 仕様	説明
IP67	無線機は、水深 15 cm ~ 1 m の水中に 30 分間さらされる、ほこりに 2 ~ 8 時間さらされるなどの悪条件に耐えます。



### 注意：

無線機を分解しないでください。分解すると無線機の密封部分が損傷し、無線機に漏洩箇所が生じることがあります。無線機のメンテナンスは、無線機の密封部分のテスト、交換が可能なサービスステーションで実施してください。

- 無線機が水没した場合は、無線機を振ってスピーカグリルやマイクポート内に入り込んでいる可能性のある水を除去してください。水が入り込むと、音声が悪化することがあります。

- 無線機のバッテリーの接触面が水に濡れた場合は、バッテリーを無線機に接続する前に、無線機およびバッテリーのバッテリー接触面をクリーニングして乾かしてください。水が残ると、無線機がショートすることがあります。
- 無線機が腐食性物質 (たとえば、塩水) に浸かった場合は、無線機およびバッテリーをきれいな水ですすいだから無線機およびバッテリーを乾かしてください。
- 無線機の外面をクリーニングするには、低刺激性の食器用洗剤の希釈液と真水 (たとえば、3 リットルの水に大さじ 1 杯の洗剤) を使用してください。
- バッテリー接触面の下無線機シャーシにあるベント (穴) を突かないでください。このベントには、無線機内部の圧力を均等化する働きがあります。ベントを突くと無線機へのリークパスが生じ、無線機の防水性が損なわれることがあります。
- ベントを塞いだり、覆ったりしないでください。ラベルも貼らないでください。
- 油性物質がベントに接触しないようにしてください。
- アンテナが正しく取り付けられた無線機は最深 1 メートル (3.28 フィート)、最長 30 分の防水性能を備えています。最大限度値を超えたり、アンテナなしで使用したりすると、無線機が損傷するおそれがあります。

- 無線機をクリーニングする際には、高圧ジェット スプレーを使用しないでください。水深 1 メートルの水圧を超えるので、無線機に水が浸入する場合があります。

## 防爆無線機



注:

防爆無線機を使用する場合は、関連情報と安全に関するガイドラインを含む操作手順に従い、記載された環境で安全かつ信頼性の高い操作を行ってください。従わなかった場合、危険な結果が生じたり、適用される規制に違反する可能性があります。無線機を使用する前に、このユーザーガイドをよくお読みください。

- 無線機の防爆:  
防爆マーキング: Ex ib IIB T4 Gb/Ex ib D21 T130°C。  
例: 防爆。  
Ib: 本質安全タイプ (b)。  
IIB: II は物質グループ II で、B はガス分類 D21 粉塵区域、ゾーン 21 です。  
T4: 機器の最大表面温度クラス。  
T130 °C: 機器の最大表面温度。  
Gb: 機器保護レベル。
- この製品には、PMNN4490A および PMNN4490BC (7.4V、2900mAh) リチウムイオン バッテリー パックのみ

により電力供給できます。バッテリー パックは、モデル番号がある 2 つの直列接続バッテリー セルで構成されています。

- 使用環境:  
通常の作業環境条件  
周囲温度: -20 °C ~ +50 °C  
相対湿度: 95% 未満 (結露なきこと)  
大気圧: 101.325 Kpa 未満  
保管温度: -40°C ~ +85°C  
汚染レベル: 汚染レベル 3。  
衝撃および振動: 大きな揺れや激しい振動のない場所。
- 危険区域  
本製品は、IIA、IIB カテゴリ T1 – T4 グループ爆発性ガスまたは蒸気混合物および防塵防爆環境で、爆発危険区域、ゾーン 1 およびゾーン 2 で使用できます。

## はじめに

このユーザー ガイドでは、無線機の操作方法を説明しています。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

以下については、ディーラーまたはシステム管理者にお問い合わせください。

- 従来チャンネルのプリセットが無線機にプログラムされているか？
- 他の機能にアクセスするために、どのボタンがプログラムされているか？
- どのオプション アクセサリが自分のニーズに対応するか？
- 効果的に通信するには、無線機をどのように使用すれば良いか？
- 無線機の寿命を延ばすには、どのような保守手段が役立つか？

### 1.1

## アイコン情報

このガイドでは、従来型アナログ モードと従来型デジタルモードのみの機能を区別するために、以下の2つのアイコンが使われています。



従来型アナログ モードのみの機能を示しています。



従来型デジタル モードのみの機能を示します。

従来型アナログとデジタルの両方のモードで利用可能な機能については、両方のアイコンが表示されません。

## はじめに

---

「はじめに」では、無線機を使用する前の準備の手順について説明します。

### 2.1

## バッテリーの充電

お使いの無線機は、電源にニッケル水素 (NiMH) またはリチウムイオン (Li-Ion) バッテリーを使用しています。

充電中は無線機の電源を切ってください。

- 保証条件に準拠するため、および損傷を防ぐために、充電器のユーザーガイドに従い、Motorola Solutions 承認充電器でバッテリーを充電してください。
- 最善の性能を出すためには、最初にご使用になる前に新しいバッテリーを 14 ~ 16 時間充電してください。  
バッテリーの充電は室温であるのが最適です。
- IMPRES™ バッテリーの充電には、バッテリーの寿命とバッテリーの貴重なデータを最適な状態で保つために、必ず IMPRES 充電器をご使用ください。IMPRES 充電器のみで充電された IMPRES バッテリーは、標準

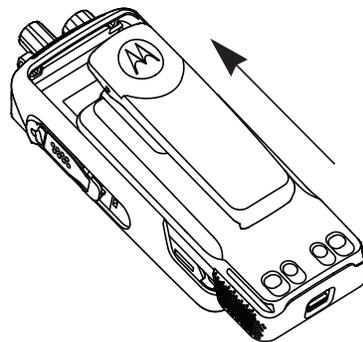
の Motorola Solutions Premium バッテリー保証期間に加え、容量保証が 6 か月延長されます。

### 2.2

## 電池パックの取り付け

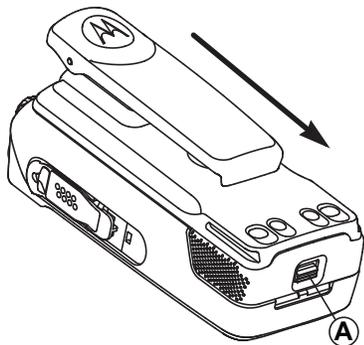
下記の手順に従って、バッテリーを無線機に取り付けます。

- 無線機の裏側のレールとバッテリーを合わせます。
- バッテリーをしっかりと押し、ラッチが収まるまで上にスライドさせます。



3 バッテリー ラッチをロック ポジションまでスライドさせます。

4 バッテリーを取り外すには、無線機の電源を切ります。**A** と記されたバッテリー ラッチをロック解除ポジションに移動させて保持します。バッテリーを下にスライドさせて、レールから外します。



注：  
このバッテリー不一致の際の警告機能は、Erasable Programmable Read Only Memory (EPROM) にプログラムされているキット番号を持つ IMPRES バッテリーおよび非 IMPRES バッテリーにのみ適用されます。

無線機に誤ったバッテリーを接続すると、低い警告音が鳴り、LED が赤色に点滅して、ディスプレイに「バッテリー エラー」と表示されます。また、CPS や RM を使用して音声ガイド/音声変換を実行している場合は、音声ガイド/音声変換によって「バッテリー エラー」と読み上げられます。

無線機にサポートされていないバッテリーを接続すると、警告トーンが鳴り、ディスプレイに「不明なバッテリー」と表示され、バッテリー アイコンが無効になります。

UL バッテリーを FM 認定の無線機に接続した場合 (またはその逆の場合)、無線機の認定が無効になります。このバッテリーの不一致が発生したときに警告を発するように、CPS で無線機をプログラムできます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

無線機にサポートされていないバッテリーや誤ったバッテリーを接続している場合は、すぐに正しいバッテリーと交換してください。

## 2.3

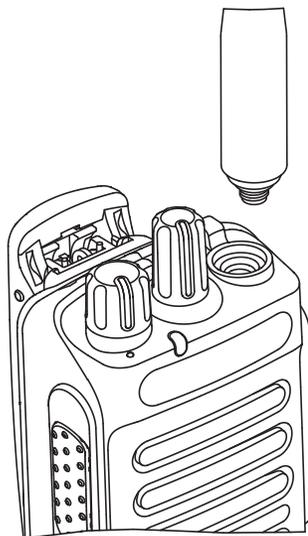
### アンテナの取り付け

無線機の電源を切ります。

ソケットにアンテナをセットし、時計回りに回します。



注：  
水やほこりから保護するために、アンテナがしっかりと取り付けられていることを確認してください。



注：  
アンテナを取り外すには、アンテナを反時計回りに回します。



注意：  
損傷を防ぐため、故障したアンテナは MOTOTRBO アンテナのみと交換してください。

## 2.4

## キャリングホルスターの取り付け

- 1 キャリングホルスターのレールをバッテリーの溝に合わせます。
- 2 カチッという音が聞こえるまで押し下げます。

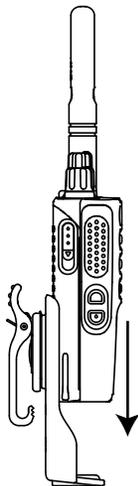


図 1：キャリングホルスターの取り付け

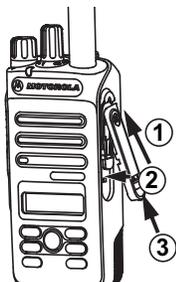
## 2.5

## ユニバーサルコネクタカバー (ダストカバー) の取り付け

ユニバーサルコネクタは、無線機のアンテナ側にあります。このコネクタは、MOTOTRBO アクセサリを無線機に接続するために使用します。

ユニバーサルコネクタを使用しないときは、ユニバーサルコネクタカバーまたはダストカバーを取り付けておきます。

- 1 カバーの斜めの突起が付いている方を、ユニバーサルコネクタの上のスロットに挿入します。
- 2 カバーを押し下げ、ダストカバーがユニバーサルコネクタに正しく収まるようにします。



- 3 ラッチを押し上げて、ダストカバーを無線機に固定します。

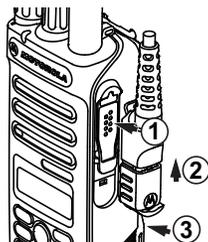
## 2.6

## アクセサリ コネクタの取り付け

アクセサリ コネクタは、無線機のアンテナ側にあるユニバーサル コネクタに固定します。下記の手順に従って、アクセサリ コネクタを無線機に取り付けます。

- 1 斜めの突起が付いている方を、ユニバーサル コネクタの上のスロットに挿入します。
- 2 コネクタを押し上げます。

- 3 カチッという音が聞こえるまでアクセサリ コネクタを押し下げます。



## 2.7

## 無線機の電源のオン

カチッという音がするまで、オン/オフ/音量コントロール ノブを時計回りに回します。

成功すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。



注：  
トーン/アラート機能が無効になっている場合は、起動時にトーンは鳴りません。

- LED が緑色に点灯します。

- ディスプレイに「MOTOTRBO (TM)」が表示された後、歓迎のメッセージまたは画像が表示されます。
- ホーム画面が点灯します。

無線機の電源が入らない場合、バッテリーをご確認ください。バッテリーが充電され、正しく取り付けられているかどうか確認してください。それでも無線機の電源が入らない場合、ディーラーにお問い合わせください。

## 2.8

### 無線機の電源のオフ

カチッという音がするまで、オン/オフ/音量コントロールノブを反時計回りに回します。

ディスプレイに「でんげんシャットダウン」と表示されます。

## 2.9

### 音量の調節

無線機の音量を調整するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 音量を上げるには、オン/オフ/音量コントロールノブを時計回りに回します。
- 音量を下げるには、オン/オフ/音量コントロールノブを反時計回りに回します。



注：

無線機には、最小音量のオフセットをプログラムできます。プログラムされた最小音量より下げることはできなくなります。

## 無線機コントロール

この章では、無線機を制御するボタンと機能について説明します。



1 チャンネルセレクタ ノブ

- 2 オン/オフ/音量コントロール ノブ
- 3 LED インジケータ
- 4 プッシュトゥートーク (PTT) ボタン
- 5 マイク
- 6 サイド ボタン 1<sup>1</sup>
- 7 サイド ボタン 2<sup>1</sup>
- 8 左のナビゲーション ボタン
- 9 メニュー ボタン
- 10 フロント ボタン P1<sup>1</sup>
- 11 OK ボタン
- 12 フロント ボタン P2<sup>1</sup>
- 13 バック/ホーム ボタン
- 14 右のナビゲーション ボタン
- 15 ディスプレイ
- 16 スピーカ
- 17 アクセサリ用のユニバーサル コネクタ

<sup>1</sup> このボタンはプログラム可能です。

## 18 アンテナ

### 3.1

## プログラム可能ボタン

ディーラーは、プログラム可能ボタンに対して、ボタンを押す長さごとに、無線機能へのショートカットをプログラムできます。

#### 短押し

押してすぐに離します。

#### 長押し

プログラムされた時間の間、押し続けます。



注：

**【きんきゅう】** ボタンを押す長さをプログラミングする方法については、「[緊急操作 ページ 91](#)」を参照してください。

#### 3.1.1

## 指定可能な無線機機能

無線機の以下の機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

#### 音声プロフィール

優先される音声プロフィールをユーザーが選択できません。

#### 音声切替

内部無線機スピーカと有線アクセサリスピーカとの間のオーディオルーティングを切り替えます。

#### 連絡先

連絡先リストに直接アクセスできます。

#### ページング

連絡先リストに直接アクセスして、ページングの送信先となる連絡先を選択できるようにします。

#### 通信転送

通信転送機能のオンとオフを切り替えます。

#### 通信履歴

通信履歴のリストを選択します。

#### チャンネル アナウンス

現在のチャンネルのゾーンとチャンネル アナウンス音声メッセージを示します。

#### 緊急モード

プログラムに応じて、緊急通信を始動またはキャンセルします。

## インテリジェント オーディオ

インテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

## 手動サイト ローミング<sup>2</sup>

手動サイト検索を開始します。

## Mic AGC

内部マイクの自動ゲイン制御 (AGC) のオンとオフを切り替えます。

## モニタ

選択されたチャンネルのアクティビティをモニタします。

## 通知

通知リストに直接アクセスできます。

## 迷惑チャンネル削除<sup>2</sup>

選択されたチャンネルを除く不要なチャンネルをスキャンリストから一時的に削除します。選択されたチャンネルとは、スキャンの開始元として選択されたゾーンまたはチャンネルの組み合わせを指します。

## ワンタッチ アクセス

事前に定義した個別通信、電話通話、グループ通信、ページング、クイック テキスト メッセージ、またはホーム復帰を直接開始します。

## 連続モニタ<sup>2</sup>

機能が無効になるまで、選択されたチャンネルですべての無線機トラフィックをモニタします。

## 電話

電話連絡先リストに直接アクセスできます。

## 秘話モード

秘話モードのオンとオフを切り替えます。

## 無線エイリアスと ID

無線エイリアスと ID を提供します。

## 無線機チェック

システム内の無線機がアクティブであるかどうかを判別します。

## 停止解除

ターゲットの無線機を遠隔で有効にできます。

## 無線停止

相手の無線機を遠隔で無効にできます。

## リピータ/ダイレクト<sup>2</sup>

リピータの使用と、別の無線機との直接的な通信とを切り替えます。

<sup>2</sup> Capacity Plus では利用できません。

### ホームチャンネルのリセット

新規ホームチャンネルを設定します。

### ホームチャンネルリマインダのミュート

ホームチャンネルリマインダをミュートします。

### スキャン<sup>3</sup>

スキャンのオンとオフを切り替えます。

### サイトロック<sup>2</sup>

オンに切り替えた場合、無線機は現在のサイトのみを検索します。オフに切り替えた場合、無線機は現在のサイトに加え、他のサイトも検索します。

### テキストメッセージ

テキストメッセージメニューを選択します。

### 強制停止

現在進行中の割り込み可能な通信を停止し、チャンネルを解放します。

### トリル拡張

トリル拡張のオンとオフを切り替えます。

### 音声ガイド オン/オフ

音声ガイドのオンとオフを切り替えます。

### 音声起動送信 (VOX)

VOX のオンとオフを切り替えます。

### ゾーン選択

ゾーンのリストからの選択を可能にします。

### 3.1.2

## 指定可能な設定またはユーティリティ機能

無線機の以下の設定またはユーティリティ機能をプログラム可能なボタンに割り当てることができます。

### トーン/アラート

全トーンとアラートのオンとオフを切り替えます。

### バックライト

ディスプレイ バックライトのオンとオフを切り替えます。

### バックライト輝度

輝度レベルを調節します。

### パワーレベル

送信出力レベルの高低を切り替えます。

<sup>3</sup> Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。

## 3.1.3

## プログラムされた機能へのアクセス

下記の手順に従って、無線機でプログラムされた機能にアクセスします。



- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされたボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
  - を押してメニューにアクセスします。
- または を押してメニュー機能に移動したら、 を押して機能を選択するか、サブメニューに移動します。
- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - を押して前の画面に戻ります。

- ホーム画面に戻るには、 を長押しします。一定の期間操作しないと、無線機は自動的にメニューを終了し、ホーム画面に戻ります。

## 3.2

## プッシュトゥーク ボタン

プッシュトゥーク ボタン (PTT) ボタンには基本的に 2 つの目的があります。

- 通信中に PTT ボタンを使用して、通信に加わっている他の無線機に送信できます。PTT ボタンを押すと、マイクが有効になります。
- 通信中でないときは、新規通信を発信するために [PTT] ボタンを使用します (「通信 ページ 39」を参照)。

話すには、PTT ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

通信許可トーンまたは PTT サイドトーン が有効となっている場合は、短い警告トーンが終了してから話します。

お使いの無線機でチャンネル フリー通知機能が有効になっている (ディーラーによってプログラムされている) 場合、ターゲットの無線機 (通信を受けている無線機) で [PTT] ボタンが放された瞬間に、短いアラート トーンが鳴

ります。これは、そのチャンネルが空いて、応答できるようになったことを示します。

④通信が中断されると、継続した通信禁止音が聞こえます。通信禁止音が継続的に聞こえた場合は、**PTT** ボタンを放します。

### 3.3

## 従来型アナログおよびデジタル モード

無線機の各チャンネルを、従来型アナログ チャンネルか従来型デジタル チャンネルとして設定できます。

### 1: チャンネル セレクタ ノブ

デジタル モードからアナログ モードに切り替えると、一部の機能が使用できなくなります。アナログ モードに切り替えると、デジタル機能の各アイコンが"グレーアウト"します。無効になった機能はメニューに表示されません。

無線機には、アナログとデジタルの両方のモードで利用できる機能もあります。それぞれの機能のわずかな違いが、無線機の性能に影響を及ぼすことはありません。



注：  
また、デュアル モード スキャン中には、デジタル モードとアナログ モードが切り替わります。詳細については、「[スキャン ページ 71](#)」を参照してください。

## ステータス インジケータ

この章では、無線機で使用するステータス インジケータおよびオーディオ トーンについて説明します。

### 4.1

## アイコン

無線機の液晶ディスプレイ (LCD) には、無線機の状態、テキスト エントリ、メニュー エントリが表示されます。

表 2: ディスプレイ アイコン

次のアイコンは、無線機ディスプレイ上部のステータス バーに表示されます。アイコンは外観や使用法の順に左詰めで配列され、チャンネル固有です。

	<p>バッテリー</p> <p>バーの本数 (0 ~ 4) でバッテリーの残量を示します。このアイコンは低バッテリー状態になると点滅します。</p>
	<p>緊急モード</p> <p>無線機が緊急モードです。</p>

	<p>フレックス <b>RX</b> リスト</p> <p>フレックス RX リストが有効です。</p>
	<p>大量データ</p> <p>大量データを受信中で、チャンネルがビジーです。</p>
	<p>モニタ</p> <p>選択されたチャンネルをモニタ中です。</p>
	<p>ミュート モード</p> <p>ミュート モードが有効になると、スピーカがミュートされます。</p>
	<p>通知</p> <p>通知リストに、1 つ以上の不在イベントがあります。</p>
	<p>無線 (<b>Over-the-Air</b>) プログラミング遅延 タイマ</p> <p>無線機の自動再起動までの残り時間を示します。</p>
	<p>高出力</p> <p>無線機は高出力に設定されています。</p>

	低出力 無線機は低出力に設定されています。
	受信信号強度インジケータ (RSSI) 表示されるバーの数は、無線機の信号強度を表します。バーが4本のときが最大強度です。このアイコンは受信時のみに表示されます。
	応答禁止 応答禁止が有効化されます。
	スキャン <sup>4</sup> スキャン機能が有効になっています。
	スキャン - 優先度 <sup>14</sup> 無線機は、優先度1に指定されたチャネル/グループのアクティビティを検出します。

	スキャン - 優先度 <sup>24</sup> 無線機は、優先度2に指定されたチャネル/グループのアクティビティを検出します。
	セキュア 秘話モード機能が有効です。
	サイトローミング <sup>5</sup> サイトローミング機能が有効です。
	<sup>4</sup> ダイレクトモード リピータがない場合、無線機は無線機間で直接通信を行うように設定されています。
	トーン無効 トーンがオフです。
	非セキュア 秘話モード機能が無効です。

<sup>4</sup> Capacity Plus では利用不可です。

<sup>5</sup> Capacity Plus-シングルサイトでは利用できません。



投票スキャン  
投票スキャン機能が有効です。

表 3：高度なメニュー アイコン

以下のアイコンは、2つのオプションのいずれかを選択できるメニュー項目の隣に表示されるか、2つのオプションがあるサブメニューがあることを示すために表示されます。



チェックボックス (チェックされている)  
オプションが選択されていることを示します。



チェックボックス (空)  
オプションが選択されていることを示します。



黒く塗りつぶされたボックス  
そのメニュー項目のサブメニューで、オプションが選択されていることを示します。

表 4：通信アイコン

以下は、通信中にディスプレイに表示されるアイコンです。これらのアイコンは、[れんらく さき] リストにも表示され、エイリアスや ID タイプを示します。



#### 個別通信

個別通信中であることを示します。  
[れんらく さき] リストでは、無線機のエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



#### グループ通信/一斉通信

グループ通信中または一斉通信中であることを示します。[れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。



#### グループ通信/一斉通信としての通話

グループ通信または一斉通信として通話中であることを示します。[れんらく さき] リストでは、グループのエイリアス (名前) または ID (番号) を示します。

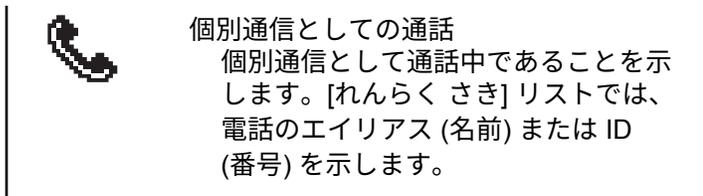


表 5: ミニ通知アイコン

次のアイコンは、タスクを実行するアクションが行われた後で、ディスプレイに瞬時的に表示されます。

	送信に失敗 (ネガティブ) アクションに失敗しました。
	送信に成功 (ポジティブ) アクションに成功しました。
	通信処理中 (経過) 送信中です。これは、通信に成功または失敗したという表示の前に表示されます。

表 6: 送信済みアイテム アイコン

以下のアイコンは、ディスプレイ右上隅にある送信 BOX フォルダに表示されます。

	処理中 送信機のエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信は保留中で、承認を待っている状態です。グループのエイリアスまたは ID に対するメッセージの送信が保留中です。
	送信失敗 テキスト メッセージを送信できません。
	送信完了 メッセージは正常に送信されました。

## 4.2

## LED インジケータ

LED インジケータは、無線機の実操作ステータスを示します。

赤色の点滅

無線機はバッテリーの不一致を示しています。<sup>6</sup>

電源投入時のセルフ テストに失敗しました。

緊急送信を受信しています。

低バッテリー状態で送信しています。

オートレンジ トランスポンダ システムで設定されている通信範囲から外れました。

ミュート モードが有効です。

#### 緑色の点灯

無線機が電源オンになっています。

送信しています。

無線機はページングまたは緊急送信を送信しています。

#### 緑色の点滅

通信またはデータを受信しています。

エア接続プログラミング送信を取得しています。

エア接続アクティビティを検出しています。



注：

このアクティビティによるプログラム済みチャンネルへの影響は、デジタル プロトコルの特性によって異なります。

Capacity Plus のエア接続アクティビティを無線機が検出しているときは、LED 表示はありません。

#### 緑色の 2 回点滅

秘話モード対応通信またはデータを受信しています。

#### 黄色の点灯

従来型チャンネルをモニタしています。

#### 黄色の点滅

アクティビティをスキャンしています。

ページングにまだ応答していません。

無線機のフレックス RX リストが有効になっています。

すべての Capacity Plus-マルチサイト チャンネルがビジー状態です。

#### 黄色の 2 回点滅

自動ローミング機能が有効です。

新規サイトを検索しています。

<sup>6</sup> 最新のソフトウェアおよびハードウェアを搭載したモデルにのみ適用されます。

グループのページングにまだ応答していません。

ロックされています。

Capacity Plus の間は、無線機はリピータに接続されません。

すべての Capacity Plus チャンネルがビジー状態です。

### 4.3

## トーン

以下は、無線機のスピーカから鳴るトーンです。



高いトーン



低いトーン

### 4.3.1

## オーディオ トーン

オーディオ トーンは、無線機の状態や無線機が受信したデータへの応答を音で知らせます。



連続トーン

モノ トーン音。終了まで連続音が鳴ります。



定期トーン

無線機で設定した期間、定期的に音が鳴ります。トーンが開始、中止、反復されます。



反復トーン

ユーザーが停止するまで、シングル トーンが繰り返されます。



瞬間トーン

無線機で設定した短いトーンが 1 回鳴ります。

### 4.3.2

## インジケータ トーン

タスクを実行するアクションが行われた後、インジケータ トーンによりステータスが音声で通知されます。



ポジティブ インジケータ トーン



ネガティブ インジケータ トーン

## ゾーンとチャネルの選択

---

この章では、無線機でゾーンまたはチャネルを選択する操作について説明します。ゾーンとは、チャネルのグループのことです。

無線機は最大 128 チャネルと 50 ゾーンをサポートします。1 ゾーンの最大チャネル数は 16 です。

それぞれのチャネルでは、異なる機能をプログラムすることも、異なるユーザーグループをサポートすることもできます。

### 5.1

## ゾーンの選択

下記の手順に従って、無線機で必要なゾーンを選択します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
    - プログラムされた [ゾーンせんたく] ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
    -  を押してメニューにアクセスします。
- 

- 2  または  を押して [ゾーン] に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイに ✓ と現在のゾーンが表示されます。
- 
- 3  または  を押して必要なゾーンに移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイに [ <ゾーン> せんたくずみ ] が一時的に表示され、すぐに選択されたゾーンの画面に戻ります。
-

## 5.2

# チャンネル選択

下記の手順に従って、無線機で必要なチャンネルを選択します。

(無線機に複数のゾーンがある場合) 必要なゾーンが表示されたら、チャンネルセレクト ノブを回してチャンネル、無線機の ID またはグループ ID を選択します。



注：

**[仮想チャンネル停止]** が有効になっている場合、無線機は最初または最後のチャンネルを超える境界で停止し、トーンが聞こえます。

---

## 通信

この章では、通信の受信、応答、発信、停止の操作について説明します。

以下の機能のいずれかを使用してチャンネルを選択した後、無線機のエイリアスまたは ID、あるいはグループのエイリアスまたは ID を選択できます。

### エイリアス検索

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループ通信、個別通信、および一斉通信のみに使用します。

### 連絡先リスト

この方法では、連絡先リストに直接アクセスできます。

### ダイヤル (連絡先を使用)

この方法は、キーパッド マイクを併用して、個別通信および通話のみに使用します。

### プログラム可能な数値キー

この方法は、キーパッド マイクを併用して、グループ通信、個別通信、および一斉通信のみに使用します。



注:

各数値キーに割り当てできるのは単一のエイリアスまたは ID ですが、単一のエイリアスまたは ID は、複数の数値キーに関連付けできます。キーパッド マイクのすべての数値キーに割り当てできます。詳細については、[プログラム可能な数値キーへのエントリの割り当て](#)を参照してください。

### プログラムされた [ワン タッチ アクセス] ボタン

この方法は、グループ、個別、電話通信のみに使用します。

ワン タッチ アクセス ボタンでは、プログラム可能ボタンの短押しまたは長押しに、それぞれ単一の ID のみを割り当てできます。お使いの無線機で、複数の [ワン タッチ アクセス] ボタンをプログラムできます。

### プログラム可能ボタン

この方法は、電話通話のみに使用します。

## 6.1

## グループ通話

ユーザー グループとの通話を受信/発信するには、無線機をそのグループの所属に設定する必要があります。

## 6.1.1

### グループ通信の発信

下記の手順に従って、無線機でグループ通信を発信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。
  - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、[グループ通信] アイコンとグループ通信エイリアスが表示されます。

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。ディスプレイに [グループ通信] アイコン、グループのエイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 4  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。通信を開始する前の画面に戻ります。

## 6.1.2

### グループ通信への応答

ユーザー グループからの通信を受信するには、無線機がそのグループの一部として設定されている必要があります。下記の手順に従って、無線機でグループ通信に応答します。

グループ通信を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に【グループ通信】アイコンが表示されます。
- テキスト行の 1 行目に発信者のエイリアスが表示されます。
- テキスト行の 2 行目に、グループ通信エイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着音の音はスピーカから聞こえます。

### 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-  音声割り込み機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

### 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

### 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

無線機が、ホーム画面以外の画面でグループ通信を受信すると、通信に応答するまでその画面のままとなります。

応答前に発信者のエイリアスを確認するには、 ボタンを長押ししてホーム画面に戻ります。

## 6.2

### 個別通信

個別通信とは、1 台の無線機から別の 1 台の無線機への通信です。

個別通信には、2 つの設定方法があります。1 つは、無線機プレゼンスチェックの後で通信をセットアップする方法

で、もう1つは通信を即座に設定する方法です。ディーラーは、これらのタイプのいずれか1つのみを無線機にプログラムできます。

### 6.2.1

## 個別通信の発信

個別通信を開始するには無線機をプログラムする必要があります。この機能が無効な場合に通信を開始すると、ネガティブインジケータトーンが鳴ります。下記の手順に従って、無線機で個別通信を発信します。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - アクティブな無線機のエイリアスまたはIDのチャンネルを選択します。
  - プログラムされたワンタッチアクセスボタンを押します。

- 2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイに【こべつ通信】アイコンと個別通信のエイリアスが表示されます。

- 3 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 5  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が**PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

### 6.2.2

## 個別通信への応答

下記の手順に従って、無線機で個別通信に応答します。

個別通信を受信した場合:

- 緑色のLEDが点滅します。

- テキスト行の 1 行目に、[個別通信] アイコンが表示されます。
- テキスト行の 2 行目に、個別通信のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着音の音はスピーカから聞こえます。

### 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。
-  強制停止機能が有効になっている場合、**PTT** ボタンを押して進行中の割り込み可能通話を停止して、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

### 2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

### 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

## 6.3

### 一斉コール

一斉コールとは、ある無線機からチャンネルの各無線機への通話を指します。一斉コールは、ユーザーの注意を十分に促す必要がある重要な通知に使用されます。チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

#### 6.3.1

### 一斉通信の受信

一斉通信を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報が表示されます。
- テキスト行の 1 行目に、[グループ通信] アイコンと [いっせい通信] が表示されます。

- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通信が終了すると、無線機は一斉通信を受信する前の画面に戻ります。

一斉通信の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

 **チャンネルフリー**指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放したときに、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが使用できるようになったことを示しています。

一斉通信には応答できません。



**注：**  
通信を受信中に別のチャンネルに切り替えると、無線機は一斉通信の受信を停止します。一斉通信が終了するまでは、メニューナビゲーションや編集はできません。

### 6.3.2

## 一斉コールの発信

一斉コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で一斉コールを発信します。

1 アクティブな一斉コールグループのエイリアスマたは ID があるチャンネルを選択します。

---

2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、いっせいコールのアイコンと「いっせいコール」が表示されます。

---

3 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

チャンネルのユーザーは、一斉コールには応答できません。

---

## 6.4

選択コール 

選択コールとは、1台の無線機から別の1台の無線機への通話です。アナログシステムでは、個別コールです。

## 6.4.1

## 選択コールの発信

選択コールを開始するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で選択コールを発信します。

1 アクティブな無線機のエイリアスまたはIDのチャンネルを選択します。

2 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色のLEDが点灯します。ディスプレイにこべつコールアイコン、無線機のエイリアス、通話ステータスが表示されます。

3 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

相手先の無線機が応答すると、LEDが緑色に点灯します。

5  チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が**PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

6 ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

## 6.4.2

選択コールへの応答 

下記の手順に従って、無線機で選択コールに応答します。

選択コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- 最初のテキスト行には、【個別コール】アイコンと発信者のエイリアス、または【せんたくコール】か【ページング コール】が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着音の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

## 6.5

### 電話通話

電話通話は、個別の無線機から電話機への通話です。

## 46

無線機で電話通話機能が有効になっていない場合:

- ディスプレイに【りようふか】と表示されます。
- 無線機の通話がミュートされます。
- 通話が終了すると、前の画面に戻ります。

電話通話中、次の場合に通話が終了します。

- 事前に設定されているディアクセス コードを使用してワンタッチ アクセス ボタンを押す。
- 追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力する。

チャンネル アクセス中、コードのアクセス/アクセス解除中、または追加の数字の送信中、無線機はオン/オフ、音量コントロール、およびチャンネル セクタの各ボタンやノブにのみ反応します。無効な入力を行うたびにトーンが鳴ります。

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除されます。トーンが鳴ります。



注:

アクセス コードまたはディアクセス コードは 10 文字以下にする必要があります。

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 6.5.1

電話通話の発信 

下記の手順に従って、無線機で通話を発信します。

- 1 プログラムされた [ワン タッチ アクセス] ボタンを押して、事前に定義されたエイリアスまたは ID に移動します。

ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されていない場合、ディスプレイに [アクセスコード:] と表示されます。

- 2 アクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイの右上隅に 電話 アイコンが表示されます。テキスト行の 1 行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に通話ステータスが表示されます。

通話に成功した場合:

- DTMF トーンが鳴ります。
- 電話機ユーザーのダイアル トーンが聞こえます。

通話に失敗した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [でんわ NG] と表示されてから、[アクセスコード:] と表示されます。
- アクセス コードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 
- 3 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

- 
- 4 通話を終了するには、 を押します。

- 
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ディアクセス コードが事前に設定されていない場合は、ディスプレイに [ディアクセスコード:] と表示されたらディアクセス コードを入力し、 を押して先に進みます。前の画面に戻ります。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

DTMF トーンが鳴り、ディスプレイに【でんわせつだん】と表示されます。

通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【Call Ended】と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。最後の2つの手順を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。

## 6.5.2

### プログラム可能な [PTT] ボタンで電話通話を行う

下記の手順に従って、プログラム可能な [PTT] ボタンで通話を行います。

- 1 プログラムされた [PTT] ボタンを押します。通話エントリ リストが表示されます。

- 2  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 緑色の LED が点灯します。通話 アイコンが右上端に表示されます。テキスト行の1行目に無線機のエイリアスが表示されます。テキスト行の2行目に、通話ステータスが表示されます。
- 通話設定に成功すると、デュアル トーン マルチ周波数 (DTMF) トーンが鳴ります。電話機ユーザーのダイヤル トーンが聞こえます。テキスト行の1行目に無線機のエイリアス通話 アイコンは引き続き右上端に表示されています。
- 通話設定に失敗するとトーンが鳴り、ディスプレイに【でんわ NG】と表示されます。アクセスコード入力画面に戻ります。アクセスコードが [れんらくさき] リストで事前に設定されている場合、そのコールを開始する前の画面に戻ります。

- 3 話すには、PTT ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。
- 4 電話コールで数字を入力する必要がある場合は、次の操作を実行します。

- ワンタッチ アクセス ボタンを押します。ワンタッチ アクセス ボタンのエントリが空の場合、ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

## 5 通話を終了するには、 を押します。

- ディスプレイに『でんわせつだん』と表示されます。
- 通話終了設定に成功するとトーンが鳴り、ディスプレイに『コールしゅうりょう』と表示されます。
- 通話終了設定に失敗すると、通話画面に戻ります。[ステップ 5](#) を繰り返すか、電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます。
- 通話連絡先画面で **PTT** ボタンを押すと、トーンが鳴り、ディスプレイに『コール >OK』と表示されます。
- 電話機ユーザーが通話を終了するとトーンが鳴り、ディスプレイに『でんわしゅうりょう』と表示されます。
- 電話通話でリクエストされた追加の数字を入力している間に通話が終了した場合、その通話を開始する前の画面に戻ります。



注：

チャンネル アクセス中に  を押すと、コール試行が解除され、トーンが鳴ります。

コール中、ディアクセス コードが事前設定されている状態でワンタッチ アクセス ボタンを押すか、追加の数字の入力としてディアクセス コードを入力すると、コールの終了が試行されます。

### 6.5.3

## グループ コールとして電話通話への応答



下記の手順に従って、無線機でグループ コール通話に応答します。

グループ コール通話を受信した場合：

- ディスプレイの右上隅に **[電話]** アイコンが表示されます。
- ディスプレイにグループのエイリアスと『でんわ』が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に「りようふか」と表示され、無線機によって通話がミュートされます。通話が終了すると、前の画面に戻ります。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
- 

- 2 通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。この手順を繰り返してコールを終了します (または、電話のユーザーがコールを終了するまで待ちます)。

---

#### 6.5.4

## 個別コールとして電話通話への応答

下記の手順に従って、無線機で個別コール通話に应答します。

個別コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に「電話」アイコンが表示されます。
- ディスプレイに発信者のエイリアスまたは「でんわ」が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に「りようふか」と表示され、無線機によって通話がミュートされます。通話が終了すると、前の画面に戻ります。

- 1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
- 

- 2 通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「Call Ended」と表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。この手順を繰り返してコールを終了します (または、電話のユーザーがコールを終了するまで待ちます)。

通話が終了すると、前の画面に戻ります。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

2 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

3 通話を終了するには、 を押します。

ディスプレイに「でんわせつだん」と表示されます。通話が正常に終了した場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「いっせいコール」と「コールしゅうりょう」が表示されます。

通話が正常に終了しなかった場合、無線機は通話画面に戻ります。**ステップ 3** を繰り返します (または電話機ユーザーが通話を終了するまで待ちます)。

### 6.5.5

## 一斉コールとして電話通話への応答

一斉コール通話を受信した場合は、一斉コール タイプがチャンネルに割り当てられている場合にのみ、通話の応答や終了が可能です。下記の手順に従って、無線機で一斉コール通話に応答します。

一斉コール通話を受信した場合:

- ディスプレイの右上隅に【電話】アイコンが表示されます。
- ディスプレイに「いっせいコール」と「でんわ」が表示されます。

無線機で無線通話機能が有効になっていない場合、ディスプレイの最初の行に「りょうふか」と表示され、無線機によって通話がミュートされます。

### 6.6

## 通話割り込みの開始

次の操作を実行すると、進行中の通話が中断されません。

- 音声 **PTT** ボタンを押します。
- 緊急ボタンを押します。
- データ送信を実行します。
- プログラムされた **TX** リモート送信解除 ボタンを押します。

受信者の無線機に「つうわ わりこみ」と表示されます。

## 6.7

### ブロードキャスト音声通信

ブロードキャスト音声通信は、ユーザーからグループ全体に対する一方向の音声通信です。

ブロードキャスト音声通信機能では、通信を開始したユーザーのみがグループへ送信でき、通信の受信者は応答できません(コール ハング タイムなし)。

この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

#### 6.7.1

## 52

### ブロードキャスト音声通話の発信

ブロードキャスト音声通話を行うように無線機をプログラムします。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。
- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに「ブロードキャスト コール」、【グループ コール】アイコンとエイリアスが表示されます。ディスプレイに【グループ通話】アイコンとエイリアスが表示されます。

- 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。



注：  
チャンネルのユーザーは、ブロードキャスト音声通話には応答できません。

通話が終了すると、前のメニューに戻ります。

## 6.7.2

### ブロードキャスト音声通話の受信

ブロードキャスト音声通話を受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 緑色の LED が点滅します。
- ディスプレイの右上隅に、発信者の ID 情報が表示されます。
- テキスト行の 1 行目に、【グループ コール】アイコンと【ブロードキャスト コール】が表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

通話が正常すると、無線機は前の画面に戻ります。

ブロードキャスト音声通話の場合、事前に定めた終了前の待機時間は適用されません。

ブロードキャスト音声通話には応答できません。



注：  
通話を受信中に別のチャンネルに切り替える場合、無線機はブロードキャスト音声通話の受信を停止します。ブロードキャスト音声通話が終了するまで、メニュー ナビゲーションや編集を続行することはできません。

## 6.8

### 未アドレス通信

未アドレス通信とは、事前に定義された 16 のグループ ID のいずれかに対するグループ通信です。

この機能は CPS-RM を使用して設定されます。未アドレス通信を開始または受信するには、事前定義された ID のいずれかの連絡先が必要です。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 6.8.1

## 未アドレス通話の発信

- 1 アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。

---

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - アクティブなグループのエイリアス（名称）または ID のチャンネルを選択します。
  - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

---

- 3 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。  
緑色の LED が点灯します。

---

- 4 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。  
相手先の無線機が応答すると、LED が緑色に点灯します。瞬間トーンが鳴ります。

---

- 5 チャンネルフリー指示機能が有効な場合、送信無線機で **[PTT]** ボタンが放された瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるよ

うになったことを示します。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

## 6.8.2

## 未アドレス通話への応答

宛先なしコールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
  - 瞬間トーンが鳴ります。
  - テキスト行に、[みアドレスつうわ]、発信者のエイリアス、およびグループ通話のエイリアスが表示されます。
  - 無線機のミュートが解除され、着音の音はスピーカから聞こえます。
- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
    - チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **[PTT]** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示していま

す。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

- 音声割り込み機能が有効になっている場合、**[PTT]** ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

---

## 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

---

## 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

---

## 6.9

# オープン音声チャンネル モード (OVCM)

オープン音声チャンネル モード (OVCM) を使用すると、特定のシステムで動作するように事前に設定されていない無線機で、グループ通信または個別通信中に受信と送信の両方を行うことができます。

OVCM グループ通信はブロードキャスト通信にも対応しています。この機能を使用するように無線機をプログラムします。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

### 6.9.1

## OVCM コールの発信

OVCM コールを発信するには無線機をプログラムする必要があります。下記の手順に従って、無線機で OVCM コールを発信します。

- 1 アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

---

## 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アクティブなグループのエイリアスまたは ID のチャンネルを選択します。

- プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

### 3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。

テキスト行に、通話タイプのアイコン、OVCM およびエイリアスが表示されます。無線機が OVCM 状態に入ったことを示します。

### 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

## 6.9.2

### OVCM コールへの応答

OVCM コールを受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。

- テキスト行には、通話タイプのアイコン、OVCM、エイリアスが表示されます。

- 無線機のミュートが解除され、着音の音はスピーカから聞こえます。



注:

ブロードキャスト コール中は、受信ユーザーがトークバックすることはできません。ブロードキャスト コール中に [PTT] ボタンを押すと、トークバック禁止音が瞬間的に鳴ります。

### 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が [PTT] ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。
- 音声割り込み機能が有効になっている場合、[PTT] ボタンを押して送信側無線機から音声に割り込んで、応答できるようにそのチャンネルを解放します。

緑色の LED が点灯します。

### 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

---

**3** 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

---

## 高度な機能

この章では、無線機で使用できる機能の操作について説明します。

ディーラーやシステム管理者が、特定のニーズのために無線機をカスタマイズしている可能性もあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

### 7.1

## ダイレクトモード

この機能を使用すれば、リピータが作動していない場合や、お使いの無線機がリピータの圏外にある場合でも、通話範囲内にある他の無線機との通信を継続できます。

ダイレクトモード設定は、電源を切った後も保持されます。



注：

この機能は、同じ周波数の Capacity Plus-シングルサイト、Capacity Plus-マルチサイト、および Citizens Band チャンネルでは利用できません。

#### 7.1.1

### 58

## リピータとダイレクトモードの切り替え

下記の手順に従って、無線機でリピータとダイレクトモードを切り替えます。

- 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - プログラムされた【リピータ/ダイレクト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。
-  または  を押して【Utilities】に移動します。 を押して選択します。
-  または  を押して【Radio Settings】に移動します。 を押して選択します。
-  または  を押して【ダイレクトモード】に移動します。 を押して選択します。  
有効にすると、✓ が【Enabled】の隣に表示されます。

無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

前の画面に自動的に戻ります。

モニタされているチャンネルが空いていると、"ホワイトノイズ" が聞こえます。

- 
- 2 話すには、**PTT** ボタンを押して応答します。相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
- 

## 7.2

### モニタ機能

この機能を使用すると、送信前にチャンネルが空いていることを確かめられます。

#### 7.2.1

### チャンネルのモニタ

下記の手順に従って、チャンネルをモニタします。

- 1 プログラムされた [モニタ] ボタンを長押しします。  
ディスプレイに [モニタ] アイコンが表示され、LED が黄色に点灯します。  
チャンネルを使用している場合:
  - 無線機のアクティビティが聞こえることも、何も聞こえないこともあります。
  - 黄色の LED が点灯します。

#### 7.2.2

### 連続モニタ

連続モニタを使用して、選択したチャンネルのアクティビティを継続的にモニタできます。

#### 7.2.2.1

### 連続モニタのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で連続モニタのオンとオフを切り替えます。

プログラムされた [連続モニタ] ボタンを押します。

無線機が本モードに入ると:

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点灯します。

- ディスプレイに「れんぞくモニタ オン」と【モニタ】アイコンが表示されます。

無線機が本モードを終了すると:

- 警告トーンが鳴ります。
- 黄色の LED がオフになります。
- ディスプレイに「れんぞくモニタ オフ」と表示されます。

## 7.3

### ホーム チャネル リマインダ

これは、無線機が一定期間ホーム チャネルにセットされていない場合に通知を出す機能です。

CPS を使用してこの機能を有効にしている場合は、無線機がホーム チャネルに設定されていないと、以下の動作が定期的に繰り返されます。

- ホーム チャネル リマインダ トーンが鳴り、音声ガイドが聞こえます。
- ディスプレイの 1 行目に「ノン」と表示されます。
- 2 行目に「ホーム チャネル」と表示されます。

次のいずれかの操作を実行して、この通知に応答できます。

- ホーム チャネルに戻る。
- プログラム可能ボタンを使用して、通知を一時的にミュートする。
- プログラム可能ボタンを使用して、新しいホーム チャネルを設定する。

#### 7.3.1

### ホーム チャネル リマインダのミュート

ホーム チャネル リマインダが鳴った場合に、リマインダを一時的にミュートできます。

プログラムされた ホーム チャネル リマインダのミュート ボタンを押します。

ディスプレイに「HCR サイレンス」と表示されます。

## 7.3.2

## 新しいホームチャンネルの設定

ホームチャンネルリマインダが通知された場合は、新しいホームチャンネルをセットできます。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - ホームチャンネルのリセットプログラム可能ボタンを押して、現在のチャンネルをホームチャンネルとしてセットします。以下の手順をスキップします。  
ディスプレイの1行目にチャンネルエイリアス、2行目に「しん ホーム Ch」が表示されます。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [ホームチャンネル] に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して、目的の新しいホームチャンネルのエイリアスに移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイには、選択したチャンネルエイリアスの横に ✓ が表示されます。

## 7.4

## リモートモニタ

この機能を使用して、無線機のエイリアスまたは ID でターゲットの無線機のマイクをオンにします。この機能を使用することで、ターゲット無線機の周りのあらゆる音声アクティビティをリモートでモニタできます。

リモートモニタには2種類あります。

- 認証を使用しないリモートモニタ
- 認証を使用するリモートモニタ

認証を伴うリモート モニタは、購入可能な機能です。認証を伴うリモート モニタでは、無線機でターゲットの無線機のマイクをオンにする際に検証が必要です。

無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パスフレーズが必要です。パスフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

この機能を使用するには、お使いの無線機とターゲット無線機の両方をプログラムする必要があります。

この機能は、プログラムされた期間の経過後、または相手の無線機でユーザーが何らかの操作を実行したときに、停止します。

#### 7.4.1

### リモート モニタの開始

下記の手順に従って、無線機でリモート モニタを開始します。

- 1 プログラムされた [リモート モニタ] ボタンを押します。

- 2  または  を押して必要なエリアまたは ID に移動します。

- 3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

- 4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

#### 7.4.2

### 連絡先リストを使用したリモート モニタの開始

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でリモート モニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [リモート モニタ] に移動します。

- 5  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
  - ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
  - パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

  - パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中

であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

## 6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LEDが消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

## 7.4.3

### ダイヤルを使用したリモートモニタの開始

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機でリモートモニタを開始します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [むせんきばんごう] に移動します。  を押して選択します。
- 5 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- 無線機のエイリアスまたは ID を入力し、 を押して処理を続行します。
- 以前にダイヤルした ID を編集し、 を押して処理を続行します。

6  または  を押して [リモート モニタ] に移動します。

7  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パズフレーズ画面が表示されます。

パズフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パズフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- パズフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- プログラムされた長さの間、モニタ対象の無線機から音声の再生が開始され、ディスプレイに「きょうせいモニタ」と表示されます。タイマーの期限が切れると、警告トーンが鳴り、LED が消灯します。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

## 7.5

無線機チェック 

この機能を使用すると、システム内の他の無線機がアクティブであるかどうかを、無線機のユーザーを呼び出さずに判断できます。ターゲットの無線機には、音声や映像による通知は行われません。この機能は、無線機のエリアスまたは ID にのみ適用されます。この機能を使用するには、無線機をプログラムする必要があります。

## 7.5.1

無線機チェックの送信 

下記の手順に従って、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1 プログラムされた【無線機チェック】ボタンを押します。

- 2  または  を押して必要なエリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

---

確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに  を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェック モードを終了します。

無線機のエリアスまたは ID の画面に戻ります。

## 7.5.2

連絡先リストを使用して無線機チェックを送信する 

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して、無線機で無線機チェックを送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して [Contacts] に移動します。OK を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。OK を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して [むせんチェック] に移動します。OK を押して選択します。  
緑色の LED が点灯します。

---

5 確認応答を待ちます。

無線機が承認待ちのときに (☎) を押すと、トーンが鳴り、無線機はすべての試行を強制終了し、無線機チェックモードを終了します。  
無線機のエイリアスまたは ID の画面に戻ります。

---

## スキャンリスト

スキャンリストは、個別チャンネルまたはグループに対して作成され、割り当てられます。無線機は、現在のチャンネルまたはグループのスキャンリストで指定されたチャンネルまたはグループ系列を循環して、音声アクティビティをスキャンします。

無線機では、最大 250 のスキャンリストを使用できます。リスト内の最大メンバー数は 16 です。

各スキャンリストには、アナログとデジタルの両方のエントリを混在させることができます。

スキャンリストを編集して、チャンネルの追加や削除、優先順位付けが可能です。

メンバーに優先度が設定されている場合は、メンバーのエイリアスの左側に [優先度] アイコンが表示され、優先度 1 と優先度 2 のどちらのチャンネルリストに属しているかが示されます。スキャンリストに複数の優先度 1 または優先度 2 チャンネルを含めることはできません。優先度を [なし] に設定すると、[優先度] アイコンは表示されません。

## 7.6.1

## スキャン リスト内のエントリの表示

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストのエントリを表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「スキャン」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「スキャン リスト」に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を使用して、リストにある各メンバーを表示します。

## 7.6.2

## スキャン リストへの新規エントリの追加

下記の手順に従って、無線機でスキャン リストに新規エントリを追加します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「スキャン」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「スキャン リスト」に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して「メンバーつか」に移動します。  を押して選択します。
- 5  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- 6  または  を押して必要な優先度に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されてから、「つか?」と表示されます。

7 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- 別のエントリを追加するには、 または  を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。ステップ5とステップ6を繰り返します。
- 現在のリストを保存するには、 または  を押して「いいえ」に移動します。 を押して選択します。

### 7.6.3

## スキャンリストからのエントリの削除

下記の手順に従って、スキャンリストからエントリを削除します。

-  を押してメニューにアクセスします。
-  または  を押して「スキャン」に移動します。 を押して選択します。

3  または  を押して「スキャン リスト」に移動します。 を押して選択します。

4  または  を押して必要なエイリアスまたはIDに移動します。 を押して選択します。

5  または  を押して「さくじょ」に移動します。 を押して選択します。  
ディスプレイに「エントリをさくじょ?」と表示されます。

6 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- エントリを削除するには、 または  を押して「はい」に移動します。 を押して選択します。  
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- 前の画面に戻るには、◀ または ▶ を押して「いいえ」に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

7 ステップ4 から ステップ6 を繰り返して、他のエントリーを削除します。

---

8 すべての必要なエイリアスまたは ID を削除したら、🏠 を長押ししてホーム画面に戻ります。

---

#### 7.6.4

### スキャンリストのエントリに対して優先度を設定する

下記の手順に従って、無線機でスキャンリストのエントリに優先度を設定します。

1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

---

2 ◀ または ▶ を押して「スキャン」に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して「スキャン リスト」に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

5 ◀ または ▶ を押して「ゆうせんど」に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

6 ◀ または ▶ を押して必要な優先度に移動します。Ⓞ を押して選択します。

ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示された後、前の画面に戻ります。【優先度】アイコンは、メニューのエイリアスの左側に表示されます。

---

## 7.7

## スキャン

スキャンを開始すると、無線機は現在のチャンネルのプログラム スキャン リストを循環して、音声アクティビティを検索します。

スキャンを開始するには 2 通りの方法があります。

## メイン チャンネル スキャン (マニュアル)

無線機は、スキャン リストにあるすべてのチャンネルまたはグループをスキャンします。設定しだいで、自動的に、最後にスキャンしたアクティブなチャンネルまたはグループのスキャンから開始されることも、スキャンの開始時に使用していたチャンネルからスキャンが開始されることもあります。

## 自動スキャン (自動)

自動スキャンが有効になっているチャンネルまたはグループを選択すると、無線機が自動的にスキャンを開始します。



注:

スキャンでグループ メッセージを受信する を設定すると、無線機はホーム以外のチャンネルからグループ メッセージを受信できるようになります。無線機は、ホーム チャンネルのグループ メッセージには返信できますが、ホーム以外のチャンネルでは返信できません。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 7.7.1

## スキャンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でスキャンのオンとオフを切り替えます。

- 1 チャンネル セレクタ ノブを回して、スキャン リストがプログラムされているチャンネルを選択します。
- 2  を押してメニューにアクセスします。
- 3  または  を押して「スキャン」に移動します。  を押して選択します。

4 ◀ または ▶ を押して「スキャンちゅう」に移動します。OK を押して選択します。

5 ◀ または ▶ を押して必要なスキャン状態に移動し、OK を押して選択します。

スキャンが有効になっている場合:

- ディスプレイに「スキャン オン」と【スキャン】アイコンが表示されます。
- 黄色の LED が点滅します。

スキャンが無効になっている場合:

- ディスプレイに「スキャン オフ」と表示されます。
- 【スキャン】アイコンが消えます。
- LED がオフになります。

### 7.7.2

## スキャン中の送信への応答

スキャン中、無線機はアクティビティが検知されたチャネルまたはグループで停止します。無線機は、ハング タイムと呼ばれるプログラムされた時間だけそのチャネルに留ま

ります。下記の手順に従って、スキャン中に送信に応答します。

- 1 ④ チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が【PTT】ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャネルが応答できるようになったことを示しています。ハング タイム中に PTT ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
- ⑤ PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 3 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

ハング タイム中に応答しないと、無線機は他のチャネルまたはグループのスキャンに戻ります。

## 7.7.3

## 迷惑チャンネルの削除

チャンネルで不要な通話やノイズ ("迷惑" チャンネルと称する) が発生し続ける場合、その不要なチャンネルをスキャン リストから一時的に削除できます。この機能は、選択チャンネルとして指定されているチャンネルには適用されません。下記の手順に従って、無線機で迷惑チャンネルを削除します。

- 1 無線機が不要なチャンネル、つまり迷惑チャンネルにロックされているときに、プログラムされた【迷惑チャンネル削除】ボタンをトーンが鳴るまで押します。
- 2 プログラムされた【迷惑チャンネル削除】ボタンを放します。  
迷惑チャンネルが削除されます。

## 7.7.4

## 迷惑チャンネルの復元

下記の手順に従って、無線機で迷惑チャンネルを復元します。

- 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れます。

- プログラムされた【スキャン】ボタンまたはメニューを使用してスキャンを停止し、再開します。
- チャンネル セレクタ ノブでチャンネルを変更します。

## 7.8

## 投票スキャン



投票スキャン機能は、複数の基地局がさまざまなアナログチャンネルで同じ情報を送信している領域を幅広くカバーするための機能です。

無線機は、複数の基地局のアナログチャンネルをスキャンし、投票プロセスを実行して最大強度の受信信号を選択します。これがいったん確立されると、その基地局からの送信を受信します。

投票スキャンの実行時に、黄色の LED が点滅し、【投票スキャン】アイコンが表示されます。

投票スキャン中に送信に応答するには、「[スキャン中の送信への応答 ページ 72](#)」を参照してください。

## 7.9

## 連絡先設定

連絡先は、無線機でアドレス帳として機能します。各エントリは、通話を開始するとき使用するエイリアスまたは ID に対応します。エントリはアルファベット順にソートされます。

各エントリは、コンテキストに応じて、次のような別々の通話タイプに関連づけられています。グループコール、個別コール、一斉コール、PC コール、ディスパッチコール。

PC コールとディスパッチ コールはデータ関連です。これらはアプリケーションで使用する場合にのみ利用できません。詳細については、データ アプリケーションのマニュアルを参照してください。



注：

各エントリに割り当てられる数値キーの前にチェックマークが表示されます。チェックマークが「なし」の前にある場合、その数値キーはエントリに割り当てられていません。

無線機では、アナログ連絡先とデジタル連絡先の 2 つの連絡先リストを使用できます。各連絡先リストは最大で 500 メンバーです。

連絡先の各エントリには、以下の情報が表示されます。

- [通話タイプ]
- 通話エイリアス
- [通話 ID]



注：

デジタル連絡先リストの無線機 ID の追加または編集を行うことができます。無線機 ID の削除は、ディーラーのみが実行できます。

加入者 ID の表示、加入者 ID の編集、およびアナログ連絡先リストのページング開始のみを行うことができます。追加および削除機能は、ディーラーのみが実行できます。

あるチャンネルで秘話モード機能が有効であれば、そのチャンネルで、秘話モード対応のグループコール、個別コール、および一斉コールを発信することができます。お使いの無線機と同一のプライバシーキー、または同じキー値とキー ID を有する相手先無線機のみが、送信を復号できます。

## 7.9.1

## 連絡先リストを使用したグループ コールの発信

下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機でグループ コールを発信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。
- 4 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。  
緑色の LED が点灯します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

-  **PTT** サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

- 6 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

グループ内のユーザーが応答すると、LED が緑色に点滅します。ディスプレイに [グループ コール] アイコン、エイリアスまたは ID と、送信側無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。

- 7  チャンネル フリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が **PTT** ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。  
音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。

## 7.9.2

## 連絡先リストを使用した個別通信の発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して [Contacts] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

4 PTT ボタンを押して通話を発信します。  
緑色の LED が点灯します。宛先のエイリアスが  
表示されます。

---

5 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向  
かってはっきりと話します (有効な場合)。

---

6 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。  
ディスプレイに送信ユーザーのエイリアスまたは ID  
が表示されます。

---

7 📞 チャンネル フリー指示機能が有効になっている場  
合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い  
警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応

答できるようになったことを示しています。電話に  
応答するには、PTT ボタンを押します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた  
時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴  
ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示され  
ます。

---

### 7.9.3

## 既定の連絡先の設定 📞

下記の手順に従って、無線機で既定の連絡先を設定します。

1 🗄️ を押してメニューにアクセスします。

---

2 ◀ または ▶ を押して [Contacts] に移動し  
ます。Ⓞ を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して必要なエイリアスまた  
は ID に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 4 ◀ または ▶ を押して [しよきちにセット] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。ディスプレイでは、選択した既定のエリアスまたは ID の横に ✓ が表示されます。

## 7.10

### 通話インジケータ設定

この機能を使用すると、通話やテキスト メッセージの着信音を設定できます。

#### 7.10.1

### 着信音のオンとオフの切り替え (ページング用)

- 1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

- 3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

- 4 ◀ または ▶ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

- 5 ◀ または ▶ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

- 6 ◀ または ▶ を押して [ページング] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

## 7.10.2

着信音のオンとオフの切り替え (個別コール用) 

下記の手順に従って、無線機で個別コール受信時の着信音のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

---

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

---

- 4  または  を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

---

- 5  または  を押して [ちゃくしんおん] に移動します。  を押して選択します。

- 6  または  を押して [こべつコール] に移動します。  を押して選択します。

個別コールの着信音がオンの場合は、[オン] の隣に ✓ が表示されます。

個別コールの着信音がオフの場合は、[オフ] の隣に ✓ が表示されます。

## 7.10.3

着信音のオンとオフの切り替え (選択コール用) 

下記の手順に従って、無線機で選択コール受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

5 ◀ または ▶ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

6 ◀ または ▶ を押して [せんたくコール] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

---

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ◀ または ▶ を押して必要なトーンに移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ◀ または ▶ を押して [オフ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。  
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。
- 

#### 7.10.4

### 着信音のオンとオフの切り替え (テキストメッセージ用)

下記の手順に従って、無線機でテキストメッセージ受信時の着信音のオン/オフを切り替えます。

1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

---

2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 4 ◀ または ▶ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 5 ◀ または ▶ を押して [ちゃくしんおん] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 6 ◀ または ▶ を押して [テキスト メッセージ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイに ✓ と現在のトーンが表示されます。

---

- 7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - ◀ または ▶ を押して必要なトーンに移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイに ✓ と選択したトーンが表示されます。

- ◀ または ▶ を押して [オフ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
以前に着信音が有効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されます。  
以前に着信音が無効になっていた場合、ディスプレイで ✓ が [オフ] の隣に表示されません。

#### 7.10.5

### 着信音スタイルの割り当て

特定の連絡先から個別通話、ページング、またはテキストメッセージを受信したときに、事前定義された 11 個の着信音のいずれか 1 つが鳴るように、無線機をプログラムできます。リストを操作すると、各着信音スタイルが鳴ります。

- 1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 ◀ または ▶ を押して [Contacts] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
エントリはアルファベット順にソートされます。

3 ◀ または ▶ を押して必要なエリアまたは ID に移動します。Ⓞ を押して選択します。

4 ◀ または ▶ を押して『ひょうじへんしゅう』に移動します。Ⓞ を押して選択します。

5 『ちゃくしんおん』メニューが表示されるまで、Ⓞ を押します。  
現在のトーンは ✓ で示されます。

6 ◀ または ▶ を押して必要なトーンに移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイに『れんらくさきほぞんずみ』と表示されます。

## アラートタイプの選択



注：  
プログラムされた【アラートタイプ】ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられます。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

無線機通話を、事前設定したマナー通話となるようにプログラムできます。【ぜんトーン】ステータスが無効である場合、【ぜんトーンしょうおん】アイコンが表示されます。【ぜんトーン】ステータスが有効である場合、関連するアラート音タイプが表示されます。

瞬時着信音スタイルである場合は、バイブが1回振動します。繰り返し着信音スタイルである場合は、バイブが繰り返して動作します。【着信音とバイブ】に設定されている場合、受信トランザクション（ページング、メッセージなど）があると、特定の着信音が鳴ります。これは、ポジティブインジケータ トーンや不在着信の音に似ています。

バイブ機能がサポートされているバッテリーが振動ベルトクリップに取り付けられている場合、使用可能な【アラートおんタイプ】オプションは、【サイレント】、【よびだし】、【バイブ】、および【着信音とバイブ】です。

### 7.10.6

バイブ機能がサポートされていないバッテリーが振動ベルトクリップに取り付けられていない場合、[アラートおんタイプ]は自動的に[よびだし]に設定されます。使用可能な[アラートおんタイプ]オプションは[サイレント]と[よびだし]です。

アラート音タイプを選択するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた [アラート音タイプ] ボタンを押して、[アラートおんタイプ] メニューにアクセスします。
  - a.  または  を押して [よびだし]、[バイブ]、[着信音とバイブ] または [サイレント] に移動し、 を押して選択します。
- メニューからこの機能にアクセスします。
  - a.  メニューにアクセスします を押します。
  - b.  または  を押して [せってい] に移動し、 を押して選択します。

- c.  または  を押して [きのうせってい] に移動し、 を押して選択します。
- d.  または  を押して [トーンアラート] に移動し、 を押して選択します。
- e.  または  を押して [アラートおんタイプ] に移動し、 を押して選択します。
- f.  または  を押して [よびだし]、[バイブ]、[着信音とバイブ] または [サイレント] に移動し、 を押して選択します。

#### 7.10.7

### バイブの強さの設定



注:

プログラムされた [バイブの強さ] ボタンがディーラーまたはシステム管理者によって割り当てられません。無線機がどのようにプログラムされているかについては、ディーラーまたはシステム管理者に確認してください。

[バイブのつよさ] は、バイブ機能がサポートされているバッテリーが搭載された無線機に振動ベルトクリップが取り付けられている場合に有効になります。

バイブの強さを設定するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた [バイブの強さ] ボタンを押して、[バイブのつよさ] メニューにアクセスします。
  - a. ◀ または ▶ を押して [みじかい]、[ふつう]、または [ながい] に移動し、OK を押して選択します。
- メニューからこの機能にアクセスします。
  - a. ☰ メニューにアクセスします を押します。
  - b. ◀ または ▶ を押して [せってい] に移動し、OK を押して選択します。
  - c. ◀ または ▶ を押して [きのうせってい] に移動し、OK を押して選択します。

- d. ◀ または ▶ を押して [トーン/アラート] に移動し、OK を押して選択します。
- e. ◀ または ▶ を押して [バイブのつよさ] に移動し、OK を押して選択します。
- f. ◀ または ▶ を押して [みじかい]、[ふつう]、または [ながい] に移動し、OK を押して選択します。

#### 7.10.8

### アラーム トーンの音量を上げる

ディーラーは、無線機通話に応答がない状態が続くと継続的に警告を発信するようにプログラムできます。時間が経

つにつれて、アラーム トーンは自動的に大きくなります。  
この機能はステップ アラートとして知られています。

## 7.11

### 動的な発信者のエイリアス

この機能を使用すると、発信者のエイリアスを無線機で設定できます。

通話中は、受信無線機に送信無線機の発信者のエイリアスが表示されます。

[発信者のエイリアス] リストには、送信無線機の発信者のエイリアスを最大 500 件保存できます。個別コールを [発信者のエイリアス] リストから表示または発信できます。無線機の電源を切ると、発信者のエイリアスの受信履歴が [発信者のエイリアス] リストから削除されます。

#### 7.11.1

### 発信者のエイリアス リストを表示する

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、発信者のエイリアスの詳細の送受信を表示できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [はっしんしゃエイリアス] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して優先リストに移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [しょうさい] に移動します。  を押して選択します。

#### 7.11.2

### 個別コールを発信者のエイリアス リストから開始

[発信者のエイリアス] リストにアクセスして、個別コールを開始できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して「はっしんしゃエイリアス」に移動します。Ⓞ を押して選択します。

3 ◀ または ▶ を押して <「必要な発信者のエイリアス」> に移動します。

4 呼び出すには、**PTT** ボタンを押し続けます。

## 7.12

### 通話履歴機能

無線機は、最近の発信、応答、不在の個別コールをすべて記録します。最近の通話の表示および管理を行うには、通話履歴機能を使用します。

お使いの無線機のシステム設定に応じて、不在着信アラートを通話履歴に含めることができます。各通話リストでは次のタスクを実行できます。

- 通話の削除
- 詳細の表示

#### 7.12.1

### 最近の通話の表示

1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して「つうわりれき」に移動します。Ⓞ を押して選択します。

3 ◀ または ▶ を押して優先リストに移動します。オプションは「ふざいちやくしん」、「へんとうずみ」、および「はっしん」リストです。

Ⓞ を押して選択します。

ディスプレイに最近のエントリが表示されます。

4 ◀ または ▶ を押してリストを表示します。**PTT** ボタンを押すと、現在ディスプレイに表示されているエイリアスまたは ID で、通話を開始できます。

## 7.12.2

通話リストからの通話の削除 

下記の手順に従って、通話リストから通話を削除します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して「つうわ りれき」に移動します。  を押して選択します。

---

- 3  または  を押して必要なリストに移動します。  を押して選択します。  
リストが空の場合:
  - トーンが鳴ります。
  - ディスプレイに「リストにありません」と表示されます。

---

- 4  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して「Delete Entry?」(「エントリをさくじょ?」) に移動します。  を押して選択します。

- 6 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  -  を押して「はい」を選択してエントリを削除します。  
ディスプレイに「にゅうりよくさくじょずみ」と表示されます。
  -  または  を押して「いいえ」に移動します。  を押して選択します。  
前の画面に戻ります。

## 7.12.3

通話リストの詳細の表示 

下記の手順に従って、無線機で通話の詳細を表示します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して【つうわ りれき】に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して必要なリストに移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

5 ◀ または ▶ を押して【しょうさい】に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイに通話の詳細が表示されます。

---

この機能は、無線機のエイリアスまたは ID のみに適用され、メニューから【れんらくさき】を選択するか、プログラムされた【ワンタッチ アクセス】ボタンを使用してアクセスできます。

### 7.13.1

## ページングへの応答

ページングを受信した場合：

- 反復トーンが鳴ります。
- 黄色の LED が点滅します。
- ディスプレイに通知リストが表示され、ページングとともに、呼び出し元無線機のエイリアスまたは ID が示されます。

ディーラーまたはシステム管理者の設置に応じて、以下の1つを行うことによりページングに応答できます。

- **PTT** ボタンを押し、個別通信を使って発信者に直接応答します。
- **PTT** ボタンを押し、通常のグループ通信を続けます。

## 7.13

# ページング操作

ページング機能を使用して、特定の無線機ユーザーに、かけ直すようアラートを送信できます。

ページングは通信履歴メニューの不在着信履歴オプションに移動します。不在着信履歴から発信者に応答できます。

---

詳しくは、「[通知リスト ページ 128](#)」および「[通話履歴機能 ページ 85](#)」を参照してください。

### 7.13.2

## 連絡先リストを使用したページングの発信

- 1  を押してメニューにアクセスします。
  - 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
  - 3  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。  を押して選択します。
- 

- 4  または  を押して [ページング] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに [ページング] と無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

---

- 5 確認応答を待ちます。
    - 承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
    - 承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

## 7.13.3

## ページングの発信

下記の手順に従って、無線機でページングを発信します。

- 1 プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。

ディスプレイに「ページング」と無線機のエイリアスと ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。

- 2 確認応答を待ちます。

ページング承認を受信した場合は、ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

ページング承認を受信していない場合は、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

## 7.14

## ミュート モード

ミュート モードでは、無線機のすべての音声インジケータを無音にできます。

ミュート モードを開始すると、緊急操作などの優先度の高い機能を除くすべての音声インジケータがミュートされます。

ミュート モードを終了すると、無線機で、継続中のトーンおよび音声の再生が再開されます。



**重要：**

一度に有効にできるのは、フェイス ダウンかマン ダウンのいずれか一方のみです。両方の機能を同時に有効にすることはできません。

## 7.14.1

### ミュート モードの有効化

下記の手順に従って、ミュート モードを有効にします。

この機能には、プログラムされた【ミュート モード】ボタンからアクセスします。

ミュート モードを有効にすると、次のことが発生します。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに「ミュート モード オン」と表示されます。

- 赤色の LED ライトの点滅が開始し、ミュート モードが終了するまで点滅したままになります。
- ディスプレイのホーム画面に【ミュート モード】アイコンが表示されます。
- 無線機がミュートになります。
- ミュート モード タイマーが、設定された時間のカウントダウンを開始します。

#### 7.14.2

### ミュート モード タイマーの設定

ミュート モード タイマーを設定すると、事前設定した所定の時間の間、ミュート モード機能を有効にすることができます。タイマーの時間は、無線機メニューで 0.5 ～ 6 時間の範囲内に設定できます。ミュート モードは、タイマーの時間が切れると終了します。

タイマーを 0 のままにすると、プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押すまで、無線機は無期限にミュート モードになります。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して【Utilities】に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して【Radio Settings】に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して【ミュート タイマー】に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して各桁の数値を編集し、  を押します。

#### 7.14.3

### ミュート モードの終了

この機能は、ミュート モード タイマーの時間が切れると、自動的に終了します。

ミュート モードを手動で終了するには、次のいずれかの操作を実行します。

- プログラムされた【ミュート モード】ボタンを押します。
- 任意のエントリで **PTT** ボタンを押します。

ミュート モードを無効にすると、次のことが発生します。

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに【ミュート モード オフ】と表示されます。
- 点滅する赤い LED が消灯します。
- ホーム画面から【ミュート モード】アイコンが消えます。
- 無線機のミュートが解除され、スピーカーが元の状態に戻ります。
- タイマーの時間が切れていない場合、ミュート モードタイマーが停止します。



注：

ユーザーが音声を送信した場合や、プログラムされていないチャンネルに切り替えた場合も、ミュート モードは終了します。

## 7.15

## 緊急操作

重大な状況を示すために、緊急アラームが使用されます。いつでも、現在のチャンネルでアクティビティがある場合であっても、緊急操作を開始できます。

ディーラーは、プログラムされた【緊急】ボタンの押し下げ時間を設定できます。ただし、他のボタンと同様、長押しは除きます。

短押し

0.05 ～ 0.75 秒の間

長押し

1.00 ～ 3.75 秒の間

緊急ボタンには、緊急のオン/オフ機能が割り当てられています。緊急ボタンに割り当てられている操作については、ディーラーに確認してください。



注：

緊急ボタンの短押しで緊急モードが開始される場合には、長押しで緊急モードが終了します。

緊急ボタンの長押しで緊急モードが開始される場合には、短押しで緊急モードが終了します。

お使いの無線機は、3 つの緊急アラームをサポートしています。

- 緊急アラーム

- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 



注：  
上記の緊急アラームのいずれか 1 つのみを、プログラムされた【緊急】ボタンに割り当てることができます。

また、各アラームには以下のタイプがあります。

#### レギュラー

無線機がアラーム信号を送信し、音声インジケータと視覚的インジケータのいずれかまたは両方で示されます。

#### サイレント

無線機がアラーム信号を送信しますが、音声インジケータも視覚的インジケータも示されません。プログラムされた【ホットマイク】送信時間が終了するか、**PTT** ボタンが押されるまで、スピーカから音が漏れることなく通話を受信します。

#### 音声付きサイレント

音声または視覚的インジケータなしにアラーム信号を送信しますが、着信通話の音はスピーカから聞こえます。ホットマイクが有効な場合は、プログラムされた【ホットマイク】送信時間が終了すると、着信通話の音がスピーカから聞こえます。**PTT** ボタンを押した場合にのみ、インジケータが表示されます。

### 7.15.1

## 緊急アラームの送信

この機能では、音声信号ではない緊急アラームを送信します。この機能を使用して、無線機グループにアラートを通知できます。お使いの無線機がサイレントに設定されている場合、緊急モード中にオーディオや視覚的インジケータは一切表示されません。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

- 1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

次のいずれかが表示されます。

- ディスプレイに【Tx アラーム】および宛先のエイリアスが表示されます。
-  【Tx テレグラム】および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注:

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは CPS を使ってプログラムできます。

## 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに『アラームそうしん』と表示されます。

再試行がすべて失敗して処理が正常に行われなかった場合:

- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに『アラーム NG』と表示されます。

緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻りません。

### 7.15.2

## 通話による緊急アラームの送信

この機能では、通話による緊急アラームを無線機グループに送信します。グループ内の無線機から確認応答がある場合、無線機グループは、プログラムされた緊急チャンネルで通信できます。

下記の手順に従って、無線機で通話による緊急アラームを送信します。

### 1 プログラムされた【緊急オン】ボタンを押します。

次のように表示されます:

- [Tx テレグラム] および宛先のエイリアスが表示されます。

緑色の LED が点灯します。【緊急】アイコンが表示されます。



注:

プログラムされている場合は、緊急検索トーンが鳴ります。このトーンは、無線機で音声を送受信するときにはミュートされ、緊急モードが終了すると停止されます。緊急検索トーンは、ディーラーまたはシステム管理者がプログラムできます。

---

## 2 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- 緊急トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディ스플레이に【アラームそうしん】と表示されます。
- ディ스플레이に【きんきゅう】と宛先グループのエイリアスが表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。

## 3 PTT ボタンを押して通話を発信します。

緑色の LED が点灯します。ディスプレイに、【グループコール】アイコンが表示されます。

---

## 4 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。
-  PTT サイドトーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話してください (有効な場合)。

---

## 5 相手の声を聞くには、PTT ボタンを放します。

- ## 6 チャンネルフリー指示機能が有効になっている場合、送信無線機が PTT ボタンを放した瞬間に、短い警告トーンが鳴ります。これは、そのチャンネルが応答できるようになったことを示しています。電話に応答するには、PTT ボタンを押します。

---

## 7 通話を終了後に緊急モードを終了するには、緊急オフ ボタンを押します。

緊急オフ ボタンを押して緊急モードを終了しないと、赤色の LED が点滅し、無線機は緊急モードのままになります。

無線機はホーム画面に戻ります。

ホット マイク が有効なときに **[PTT]** ボタンを押し、ホット マイク の期限が切れた後もそのまま押し続けていた場合は、**[PTT]** ボタンを放すまで無線機は送信を続けます。

緊急アラームのリクエストに失敗すると、無線機はそのリクエストを再送信せず、直接 "ホット マイク" 状態に入ります。



注：  
"ホット マイク" を使用できないアクセサリもあります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

### 7.15.3

## 音声ガイドおよび緊急アラーム

この機能では、緊急アラームと音声ガイドを無線機グループに送信します。無線機のマイクは自動的に有効になり、**PTT** ボタンを押さずに無線機グループと通信できます。このアクティブな状態のマイクを "ホット マイク" と呼びます。

緊急サイクル モードが有効な場合、プログラムされた期間、"ホット マイク" と受信期間が繰り返されます。緊急サイクル モードでは、受信コールの音はスピーカから聞こえます。

プログラムされた受信期間に **PTT** ボタンを押すと、通話禁止音が聞こえます。これは、**PTT** ボタンを放す必要があることを示します。**PTT** ボタンが押されたことは無視され、緊急モードが保たれます。

### 7.15.4

## 緊急アラームと音声ガイドの送信

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。  
次のいずれかが表示されます。
  - **[Tx アラーム]** および宛先のエイリアスが表示されます。緑色の LED が点灯します。**[緊急]** アイコンが表示されます。

- 2 ディスプレイに『アラーム そうしん』と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

次の場合、無線機は自動的に送信を終了します。

- 緊急サイクルモードが有効で、ホットマイクと通話受信のサイクルの期限が切れた場合。
- 緊急サイクルモードが無効で、ホットマイクの期限が切れた場合。

赤色のLEDが点滅します。無線機は緊急モードのままとなります。

- 
- 3 緊急オフボタンを押して、緊急モードを終了します。無線機はホーム画面に戻ります。
- 

### 7.15.5

## 緊急アラームの受信

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色のLEDが点滅します。

- ディスプレイに、緊急アイコン、緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。また、複数のアラームが出ている場合は、すべての緊急通話送信者のエイリアスがアラームリストに表示されます。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- アラームが1つだけの場合、詳細を表示するには  を押します。
- 複数のアラームが出ている場合、詳細を表示するには、 または  を押して必要なエイリアスに移動し、 を押します。

- 
- 2  を押すと、操作オプションが表示されます。
- 

- 3 アラームリストを終了するには、 を押して『はい』を選択します。
- 

- 4  を押してメニューにアクセスします。
- 

- 5 『アラーム』を選択すると、アラームリストが再表示されます。
-

6 ホーム画面に戻るには、次の操作を実行します。

a  を押します。

b ▲ または ▼ を押して [はい] に移動します。

c  を押して選択します。

無線機がホーム画面に戻り、ディスプレイに [緊急] アイコンが表示されます。

- 緊急の起動または転送ステータス時に、プログラムされた [緊急オン] ボタンを押します。

無線機は、緊急モードを終了し再び緊急モードになります。

#### 7.15.7

### 緊急アラーム送信後の緊急モードの終了

この機能は、緊急アラームを送信する無線機にのみ適用されます。

次の場合に無線機の緊急モードが終了します。

- 承認を受信した場合 (緊急アラームの場合のみ)。
- アラームを送信するすべての再試行が失敗した場合。



注：

無線機の電源を切ると、緊急モードは終了します。もう一度電源を入れたときに、無線機が自動的に緊急モードを再開することはありません。

下記の手順に従って、無線機の緊急モードを終了します。

以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [緊急オフ] ボタンを押します。
- 緊急システムを設定していない新しいチャンネルに変更します。

#### 7.15.6

### 緊急モードの再開

下記の作業のどちらかを実行します。

- 無線機が緊急モードの間に、チャンネルを変更します。



注：

新しいチャンネルで緊急アラームを有効にした場合にのみ、緊急モードを再開できません。

ディスプレイに「へいじょう」と表示されます。

## 7.16

### テキスト メッセージング

無線機は、他の無線機やテキスト メッセージ アプリケーションからテキスト メッセージなどのデータを受信できません。

テキスト メッセージには、デジタル車載型無線機 (DMR) ショート テキスト メッセージと、テキスト メッセージの 2 種類があります。DMR ショート テキスト メッセージの最大長は 23 文字です。テキスト メッセージの最大長は、件名を含めて 280 文字です。件名は、電子メール アプリケーションからメッセージを受信した場合にのみ表示されます。



注:

この最大長は、ソフトウェアとハードウェアが最新のモデルにのみ適用されます。ソフトウェアやハードウェアが古い無線機モデルでは、最大長は 140 文字です。詳細については、ディーラーにお問い合わせください。

#### 7.16.1

## 98

### クイック テキスト メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で事前に定義したクイック テキスト メッセージを事前に定義したエリアスに送信します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされたワンタッチ アクセス ボタンを押します。  
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。  
[ステップ 4](#)に進みます。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して「クイック テキスト」に移動します。  を押して選択します。

- 3 ◀ または ▶ を押して必要なクイック テキスト メッセージに移動します。Ⓞ を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機に「さいそうしん」オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 99](#)」を参照してください。

## 7.16.2

### テキスト メッセージの再送信

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合:

Ⓞ を押して、同じ無線機、グループのエイリアス、または ID に、同じメッセージを再送信します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

- 無線機で「さいそうしん」オプション画面が再び表示されます。



注：

ボリュームを変更するか、、、または  以外のボタンを押すと、メッセージに戻ります。

**PTT** ボタンを押して個別コールやグループ コールを行ったり、グループ コールに応答したりすると、「さいそうしん」オプション画面が終了します。メッセージ、緊急通話や緊急アラーム、またはページングを受信しても、画面が終了します。

メッセージ送信中にメッセージ送信画面を終了すると、音声や視覚表示で通知することなく、送信 BOX フォルダ内のメッセージのステータスが更新されます。

送信 BOX 内のメッセージのステータスが更新される前に、無線機のモードが変更されたり電源がオフになったりすると、実行中のメッセージを完了できなくなり、そのメッセージには [送信失敗] アイコンが自動的に付けられます。

無線機では、同時に最大で 5 件の実行中メッセージを使用できます。この間、新しいメッセージを送信できなくなり、新しいメッセージには自動的に [送信失敗] アイコンが表示されます。

### 7.16.3

## テキスト メッセージの転送

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージを転送します。

「さいそうしん」オプション画面が表示されている場合：

-  または  を押して「てんそう」に移動し、 を押して同じメッセージを別の無線機またはグループのエイリアスまたは ID に送信します。
-  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。  
ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。
- 確認応答を待ちます。  
正常に行われた場合：
  - ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
  - ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

#### 7.16.4

### 送信済みテキスト メッセージの表示

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを表示します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して【メッセージ】に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して【そうしん BOX】に移動します。  を押して選択します。  
【そうしん BOX】フォルダが空の場合:
  - ディスプレイに【リストにありません】と表示されます。
  - キー操作音がオンであれば低い音でトーンが鳴ります。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。  
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

## 7.16.5

送信済みテキスト メッセージの送信 

下記の手順に従って、無線機で送信済みテキスト メッセージを送信します。

送信済みメッセージを表示する場合:

1 メッセージの表示中に、 を押します。

2  または  を押して「さいそうしん」に移動します。 を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

3 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
- 無線機に「さいそうしん」オプション画面が表示されます。詳細については、「[テキスト メッセージの再送信 ページ 99](#)」を参照してください。

## 7.16.6

## 送信 BOX フォルダからのすべての送信済みテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で送信 BOX フォルダからすべての送信済みテキスト メッセージを削除します。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。[ステップ 3](#)に進みます。
-  を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して [メッセージ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

3 ◀ または ▶ を押して [そうしん BOX] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

[そうしん BOX] フォルダが空の場合:

- ディスプレイに [List Empty] と表示されます。
- トーンが鳴ります。

4 ◀ または ▶ を押して [ぜんさくじょ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ◀ または ▶ を押して [はい] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- ◀ または ▶ を押して [いいえ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
前の画面に戻ります。

### 7.16.7

## テキスト メッセージへの応答

下記の手順に従って、無線機でテキスト メッセージに応答します。

テキスト メッセージを受信する場合:

- ディスプレイに通知リストが表示され、送信者のエイリアスまたは ID が示されます。
- ディスプレイに [メッセージ] アイコンが表示されます。



注:

PTT ボタンが押されると、警告画面が終了し、送信者への個別コールまたはグループ コールが開始されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ◀ または ▶ を押して [ひょうじ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

ディスプレイにテキスト メッセージが表示されます。メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

- ◀ または ▶ を押して [あとでひょうじ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。テキスト メッセージを受信する前の画面に戻ります。
- ◀ または ▶ を押して [さくじょ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

2 ◀ を押して [じゅしん BOX] に戻ります。

#### 7.16.8

### テキスト メッセージの表示

1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

2 ◀ または ▶ を押して [メッセージ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

3 ◀ または ▶ を押して [じゅしん BOX] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに [リストにありません] と表示されます。
- キー操作音がオンであればトーンが鳴ります。

4 ◀ または ▶ を押して必要なメッセージに移動します。Ⓞ を押して選択します。

メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。

## 7.16.9

## 受信 BOX からのテキスト メッセージの削除

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からテキスト メッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
  -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して【メッセージ】に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して【じゅしん BOX】に移動します。  を押して選択します。  
受信 BOX が空の場合:
  - ディスプレイに【List Empty】と表示されます。
  - トーンが鳴ります。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。  
メッセージが電子メール アプリケーションから送信された場合は、件名の行が表示されます。
- 5  を押してサブメニューにアクセスします。
- 6  または  を押して【Delete】に移動します。  を押して選択します。
- 7  または  を押して【はい】に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されません。画面は【受信トレイ】に戻ります。

## 7.16.10

受信 BOX からのすべてのテキストメッセージの削除 

下記の手順に従って、無線機で受信 BOX からすべてのテキストメッセージを削除します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた【メッセージ】ボタンを押します。ステップ 3 に進みます。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して【メッセージ】に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して【じゅしん BOX】に移動します。  を押して選択します。

受信 BOX が空の場合:

- ディスプレイに【List Empty】と表示されます。
- トーンが鳴ります。

- 4  または  を押して【ぜんさくじょ】に移動します。  を押して選択します。

- 5  または  を押して【はい】に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示され  
ます。

## 7.17

アナログ ステータス更新 

無線機では、現在のアクティビティを示すステータス リストから無線機の連絡先 (5 トーン システム) またはディスパッチャ (Motorola データ通信システム) に、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

最後に確認されたメッセージがステータス リストの最上部に保存されます。他のメッセージは英数字順に並べられません。

## 7.17.1

定義済み連絡先へのステータス更新の送信 

下記の手順に従って、無線機で定義済み連絡先にステータス更新を送信します。

1  または  を押して「ステータス」に移動します。  を押して選択します。

---

2  または  を押して必要なステータスに移動します。  を押して選択します。

5 トーン システムの場合、ステータス リストで **PTT** ボタンを押すと、選択したステータス更新が送信され、ホーム画面が表示されて、音声通話が開始されます。

---

3  または  を押して「しよきちにセット」に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、ステータス更新が送信中であることが示されます。

---

4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。
- ディスプレイで、承認されたステータスの隣に ✓ が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
  - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
  - ディスプレイで、前のステータスの隣に ✓ が表示されます。
- 

5 トーン システムの場合、既定の連絡先設定の詳細については、「[既定の連絡先の設定 ページ 76](#)」を参照してください。

## 7.17.2

## 5 トーン ステータスの詳細の表示

下記の手順に従って、無線機で 5 トーン ステータスの詳細を表示します。

ソフトウェアのライセンス キーを購入済みであることを前提としています。

1  または  を押して「ステータス」に移動します。  を押して選択します。

---

2  または  を押して必要なステータスに移動します。  を押して選択します。

---

3  または  を押して「しょうさい」に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに選択したステータスの詳細が表示されます。

---

## 7.18

## 108

## アナログメッセージエンコード

無線機では、メッセージ リストから無線エイリアスまたはディスパッチャに、事前にプログラムされたメッセージを送信できます。

## 7.18.1

### ディスパッチャへの MDC エンコード メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で MDC エンコード メッセージをディスパッチャに送信します。

1  を押してメニューにアクセスします。

---

2  または  を押して「メッセージ」に移動します。  を押して選択します。

---

3  または  を押して「クイック テキスト」に移動します。  を押して選択します。

---

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 5 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

## 連絡先への 5 トーン エンコード メッセージの送信

下記の手順に従って、無線機で 5 トーン エンコード メッセージを連絡先に送信します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [メッセージ] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [クイック テキスト] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なメッセージに移動します。  を押して選択します。

### 7.18.2

- 5 ◀ または ▶ を押して必要な連絡先に移動します。 OK を押して選択します。

ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、メッセージが送信中であることが示されます。

- 6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。



注:  
詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 既定の 5 トーンによる連絡先の設定

この機能の使用に必要なソフトウェアのライセンス キーは別売りです。

下記の手順に従って、既定の 5 トーンによる連絡先を設定します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

- 2 OK を押して [れんらくさき] を選択します。

- 3 ◀ または ▶ を押して必要な連絡先に移動します。 OK を押して選択します。

- 4 を押して [しよきちにセット] に移動します。

- 5 次の状態になります。

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

- ディスプレイに、✓ と選択した連絡先が表示されます。

## 7.20

## 5 トーン通話の発信

この機能を使用するには、ソフトウェア ライセンス キーを別途購入する必要があります。

下記の手順に従って、5 トーン通話を発信します。

- 1 必要な連絡先またはステータス リストの 5 トーンチャンネルを選択します。
- 2 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - **PTT** ボタンを押して通話を発信します。以下の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。
- 3  を押して「れんらくさき」を選択します。

- 4  または  を押して必要な連絡先に移動します。

- 5 **PTT** ボタンを押して通話を発信します。

- 6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイに [Tx テレグラム] と短時間表示されます。
- ディスプレイに【個別通話】アイコンと発信者のエイリアスが表示されます。
- 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴ります。ディスプレイに [Call Ended] と表示されます。

## 7.20.1

## 5 トーン通話の受信

この機能を使用するには、ソフトウェア ライセンス キーを別途購入する必要があります。

5 トーン通話を受信した場合:

- 緑色の LED が点滅します。
- トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[個別通話]** アイコンと発信者のエイリアスが表示されます。
- 無線機のミュートが解除され、着信の音はスピーカから聞こえます。

1 電話に応答するには、**PTT** ボタンを押します。

緑色の LED が点灯します。

2 通話許可トーンが完了するまで待機し、マイクに向かってはっきりと話します (有効な場合)。

3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。

音声アクティビティがないまま、事前に定められた時間が経過すると、通話が終了します。トーンが鳴

ります。ディスプレイに **[Call Ended]** と表示されます。

## 7.20.2

## 5 トーン緊急アラームの送信

この機能を使用するには、ソフトウェア ライセンス キーを別途購入する必要があります。

下記の手順に従って緊急アラームを送信します。

1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

次のように表示されます:

- **[Tx アラーム]** およびチャンネルのエイリアスが短時間表示されます。
- 緑色の LED が点灯します。
- **[緊急]** アイコンが表示されます。
- 緊急トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[アラームそうしん]** と表示されます。

- 2 緊急アラーム モードが終了し、ホーム画面に戻ります。
- 

### 7.20.3

## 5 トーン緊急アラームと音声ガイドの送信

この機能を使用するには、ソフトウェア ライセンス キーを別途購入する必要があります。

下記の手順に従って、無線機で緊急アラームを送信します。

- 1 プログラムされた **[緊急オン]** ボタンを押します。

次のように表示されます：

- 緑色の LED が点灯します。
- **[Tx アラーム]** およびチャンネルのエイリアスが短時間表示されます。
- **[緊急]** アイコンが表示されます。
- 緊急トーンが鳴ります。
- ディスプレイに **[アラームそうしん]** と表示されます。

- ディスプレイに **[きんきゅう]** と表示されると、無線機が緊急通話モードに入ります。
- 

- 2 ディスプレイに **[アラームそうしん]** と表示されたら、マイクに向かってはっきりと話します。

「緊急サイクルモード」が有効になっている場合、ホットマイクと受信コールのサイクルの期限が切れると、無線機は自動的に送信を停止します。

赤色の LED が点滅します。無線機は緊急モードのままとなります。

---

- 3 相手の声を聞くには、**PTT** ボタンを放します。
- 

- 4 通話を終えた後に緊急モードを終了するには、**緊急オフ** ボタンを押します。

緊急オフ ボタンを押して緊急モードを終了しないと、赤色の LED が点滅し、無線機は緊急モードのままになります。

無線機はホーム画面に戻ります。

---

## 7.20.4

## 5 トーン緊急アラームの受信

この機能を使用するには、ソフトウェア ライセンス キーを別途購入する必要があります。

緊急アラームを受信した場合:

- トーンが鳴ります。
- 赤色の LED が点滅します。
- ディスプレイに、[緊急] アイコン、緊急通話送信者のエイリアスが表示されます。また、複数のアラームが出ている場合は、すべての緊急通話送信者のエイリアスがアラーム リストに表示されます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- アラームが 1 つだけの場合、詳細を表示するには  を押します。
- 複数のアラームが出ている場合、詳細を表示するには、 または  を押して必要なエイリアスに移動し、 を押します。

2  を押すと、操作オプションが表示されます。

3 通知リストを終了するには、 を押して [はい] を選択します。

## 7.21

## プライバシー

この機能は、ソフトウェアベースのスクランブル ソリューションの使用により、不正なユーザーによる盗聴を防ぐのに役立ちます。送信のシグナリングおよびユーザー識別の部分はスクランブルされません。

秘話モード対応で送信するには、無線機のチャンネルに秘話モードを設定する必要があります。ただし、秘話モードを設定していなくても受信はできます。秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな送信、つまりスクランブルされていない送信を引き続き受信できます。

無線機のモデルによっては、秘話モード機能がない場合や、構成が異なる場合があります。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

お使いの無線機は、2 種類の秘話モードをサポートしていますが、1 つのモードのみを無線機に割り当てることができます。コマンドの種類は、次のとおりです。

- 基本プライバシー
- 拡張プライバシー

秘話対応通話またはデータ送信のスクランブルを解除するには、送信側無線機と同じ基本秘話モードのプライバシーキーを持つように、または、同じスクランブルモードのキー値とキーIDを持つように、お使いの無線機をプログラムする必要があります。

無線機が、異なるプライバシーキー、または異なるキー値とキーIDのスクランブル通話を受信した場合、基本秘話モードでは、音声理解できないノイズになり、スクランブル秘話モードでは、何も聞こえなくなります。

無線機のプログラム方法に応じて、秘話モード対応チャンネル上で、無線機はクリアな通話、つまりスクランブルされていない通話を受信できます。さらに、無線機のプログラム方法に応じて、警告音を鳴らすことも鳴らさないこともできます。

無線機に秘話モードのタイプが割り当てられている場合、無線機が緊急通話または緊急アラームを送受信している場合を除き、ホーム画面に【セキュア】アイコンまたは【非セキュア】アイコンが表示されます。

無線機が送信しているとは、緑色のLEDが点灯します。無線機が進行中の秘話対応通話を受信しているときは、LEDが素早く点滅します。



注：  
この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルでは利用できません。

### 7.21.1

## 秘話モードのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で秘話モードのオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - プログラムされた【ひわモード】ボタンを押します。進行中の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 
- 2  または  を押して【Utilities】に移動します。  を押して選択します。

- 
- 3  または  を押して【Radio Settings】に移動します。  を押して選択します。
-

- 4  または  を押して<必要なプライバシー>に移動します。  を押して選択します。
- プライバシーがオンの場合、ディスプレイで「ゆうこう」の隣に ✓ が表示されます。
  - プライバシーがオフの場合、ディスプレイで「ゆうこう」の隣に空のボックスが表示されます。

## 7.22

### 応答禁止

この機能を使用すると、無線機が着信通信に応答しないようにすることができます。



注：  
無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

有効にすると、無線機は着信通信に回答して送信通信を生成しません(無線機チェック、ページング、無線停止、リモート モニタ、自動登録サービス (ARS)、プライベート メッセージへの応答など)。

この機能が有効になっていると、無線機は個別通信の確認を受信できません。ただし、無線機で手動による送信を行うことはできます。

## 7.22.1

### 応答禁止の有効化または無効化

無線機の応答禁止を有効または無効にするには、次の手順に従います。

プログラムされた【おうとうきんし】ボタンを押します。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が 1 回だけ表示されます。

## 7.23

セキュリティ 

この機能では、システム内の任意の無線機の有効、無効を切り替えられます。

たとえば、盗難にあった無線機を無効にして不正ユーザーが使用できないようにし、無線機を回収したら有効にできます。

無線機を有効または無効にする方法には、認証を使用する方法と認証を使用しない方法の2つがあります。

認証を伴う無線機の無効化は、購入可能な機能です。認証を伴う無線機の無効化では、無線機を有効化または無効化する際に検証が必要です。無線機で、ユーザー認証を使用してターゲットの無線機に対してこの機能を開始する場合、パズフレーズが必要です。パズフレーズは、CPS を使用して、ターゲットの無線機に事前にプログラムしておきます。

無線機を有効または無効にする手順の途中で  を押すと、承認を受信できなくなります。



注：

詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 7.23.1

無線機の無効化 

下記の手順に従って、無線機を無効にします。

1 プログラムされた **【無線停止】** ボタンを押します。

2  または  を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。

3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
- パズフレーズ画面が表示されます。

パズフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パズフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

#### 4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

### 7.23.2

## 連絡先リストを使用した無線機の無効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を無効にします。

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。
- 3 または を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
- 4 または を押して [むせんていし] に移動します。
- 5 を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。
  - ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点滅します。
  - パスフレーズ画面が表示されます。パスフレーズを入力します。 を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

## 6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

## ダイヤルを使用した無線機の無効化

下記の手順に従って、ダイヤルを使用して無線機を無効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Contacts] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [ダイヤル] に移動します。  を押して選択します。
- 4 無線機の ID を入力し、  を押して先に進みます。
- 5  または  を押して [むせていし] に移動します。
- 6  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

### 7.23.3

- ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点滅します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

## 7 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

### 7.23.4

## 無線機の有効化

下記の手順に従って、無線機を有効にします。

1 プログラムされた【停止解除】ボタンを押します。

2  または  を押して必要なエイリアスまたはIDに移動します。

3  を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- ディスプレイには【むせんオン】および無線機のエイリアスまたはIDが表示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色のLEDが点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

#### 4 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブインジケータトーンが鳴ります。
- ディスプレイにネガティブミニ通知が表示されます。

## 連絡先リストを使用した無線機の有効化



下記の手順に従って、連絡先リストを使用して無線機を有効にします。

- 1 を押してメニューにアクセスします。
- 2 または を押して [Contacts] に移動します。 を押して選択します。
- 3 または を押して必要なエイリアスまたは ID に移動します。 を押して選択します。
- 4 または を押して [ていしかいじょ] に移動します。
- 5 を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。ディスプレイには「むせんオン」および無線機のエリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。  を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中であることが示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。

## 6 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。

### 7.23.6

## ダイアルを使用した無線機の有効化

下記の手順に従って、ダイアルを使用して無線機を有効にします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して「Contacts」に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して「ダイアル」に移動します。  を押して選択します。

- 4 ◀ または ▶ を押して【こべつコール】に移動します。Ⓞ を押して選択します。  
テキスト行の 1 行目に【むせん ID:】と表示されます。
- 

- 5 無線機の ID を入力し、Ⓞ を押して先に進みます。
- 

- 6 ◀ または ▶ を押して【ていしかいじょ】に移動します。
- 

- 7 Ⓞ を押して選択します。下記のいずれかの状態になります。

- 緑色の LED が点滅します。ディスプレイには【むせんオン】および無線機のエイリアスまたは ID が表示されます。緑色の LED が点灯します。
- パスフレーズ画面が表示されます。

パスフレーズを入力します。Ⓞ を押して次の操作へ進みます。

- パスフレーズが正しい場合、ディスプレイに経過に関するミニ通知が表示され、要求が処理中

であることが示されます。緑色の LED が点灯します。

- パスフレーズが正しくない場合、ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示され、前の画面に戻ります。
- 

- 8 確認応答を待ちます。

正常に行われた場合:

- ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。
- ディスプレイにポジティブ ミニ通知が表示されます。

正常に行われなかった場合:

- ネガティブ インジケータ トーンが鳴ります。
  - ディスプレイにネガティブ ミニ通知が表示されます。
-

## 7.24

## ローンワーカー

この機能を使用すると、事前に定義した期間中にユーザー操作（無線機のボタンの押下やチャンネル選択など）がない場合に、緊急アラームを発生させることができます。

プログラムされた期間にユーザーによる操作がなく、無操作タイマーの時間が経過すると、無線機は音声インジケータでユーザーに最初の警告を発します。

事前に定義した通知タイマーの時間が経過しても確認応答がない場合に、無線機から緊急アラームが発せられます。

この機能には、下記の緊急アラームのいずれか1つのみが割り当てられます。

- 緊急アラーム
- 通話による緊急アラーム
- 音声ガイドおよび緊急アラーム 

無線機は、緊急状態のままとなり、操作が行われるまで音声メッセージの送信が継続します。緊急状態の終了方法の詳細については、「[緊急操作 ページ 91](#)」を参照してください。



注：  
詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 7.25

## パスワード ロック

パスワードを設定して、無線機へのアクセスを制限できます。無線機の電源を入れるたびに、パスワードを入力するように求められます。

無線機では、4桁のパスワード入力を使用できます。

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。

## 7.25.1

## パスワードを使用した無線機へのアクセス

無線機の電源を入れます。

- 1 4桁のパスワードを入力します。

- a 各桁の数値を編集するには、 または  を押します。次の桁を入力して移動するには、 を押します。

- 2  を押してパスワードを確認します。

パスワードを正しく入力すると、無線機の電源が入ります。

1回目と2回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴り続けます。
- ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。

ステップ1を繰り返します。

3回目の試行後に誤ったパスワードを入力すると、無線機に次のような通知が表示されます。

- トーンが鳴ります。
- 黄色のLEDが2回点滅します。
- ディスプレイに「パスワードふてきごう」に続き、「むせんきロックずみ」と表示されます。
- 無線機は15分間ロック状態になります。



注：  
ロック状態の無線機は、オン/オフ/音量コントロールノブおよびプログラムされた【バックライト】ボタンからの入力にのみ反応します。

ロック状態の15分タイマーが終了するのを待ってから、[ステップ1](#)を繰り返します。



注：  
無線機の電源を切ってから再度入れると、15分タイマーが再起動します。

## 7.25.2

### ロック状態の無線機をロック解除する

ロック状態の無線機は、コールを受信できません。下記の手順に従って、ロック状態の無線機をロック解除します。

以下のいずれか1つの手順を実行します。

- 無線機の電源がオンになっている場合には、15分待ってから [パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 124](#) の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。
- 無線機の電源がオフになっている場合には、無線機の電源をオンにします。ロック状態の15分タイマーが再起動されます。

トーンが鳴ります。黄色のLEDが2回点滅します。ディスプレイに「むせんきロックずみ」と表示されます。

15分待ってから **パスワードを使用した無線機へのアクセス ページ 124** の手順を繰り返し、無線機にアクセスします。

### 7.25.3

## パスワード ロックのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でパスワード ロックのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [パスワード ロック] に移動します。  を押して選択します。

- 5 現在の4桁のパスワードを入力します。
  - キーパッド マイクを使用します。
  -  または  を押して各桁の数値を編集し、  を押して値を入力し、次の桁に移動します。数値を押すたびに、ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

- 6  を押してパスワードを入力します。パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示され、自動的に前のメニューへ戻ります。

- 7 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  -  または  を押して [オン] に移動します。  を押して選択します。

ディスプレイの「オン」の隣に ✓ が表示されま  
す。

- ◀ または ▶ を押して「オフ」に移動しま  
す。  を押して選択します。  
ディスプレイの「オフ」の隣に ✓ が表示されま  
す。

#### 7.25.4

### パスワードの変更

下記の手順に従って、無線機でパスワードを変更します。

-  を押してメニューにアクセスします。
- ◀ または ▶ を押して「Utilities」に移動  
します。  を押して選択します。
- ◀ または ▶ を押して「Radio Settings」に  
移動します。  を押して選択します。

- ◀ または ▶ を押して「パスワード ロック」  
に移動します。  を押して選択します。

- 現在の4桁のパスワードを入力し、  を押して次  
に進みます。  
パスワードが正しくない場合は、ディスプレイに「パ  
スワードふてきごう」と表示され、自動的に前のメニ  
ューへ戻ります。

- ◀ または ▶ を押して「パスワード ヘンコ  
ウ」に移動します。  を押して選択します。

- 新しい4桁のパスワードを入力し、  を押して次  
に進みます。

- 新しい4桁のパスワードをもう一度入力し、  を  
押して次に進みます。  
処理が正常に行われると、ディスプレイに「パスワー  
ドへんこうずみ」と表示されます。

処理が正常に行われなかった場合は、ディスプレイに「パスワードふてきごう」と表示されます。

前のメニューに自動的に戻ります。

## 7.26

### 通知リスト

無線機には、未読のメッセージ、テレメータメッセージ、不在着信やページングなど、チャンネル上で未読のイベントをすべて収集する通知リストがあります。

通知リストにイベントが1件以上あると、ディスプレイに【おしらせ】アイコンが表示されます。

リストでは、最大40の未読イベントを使用できます。リストがいっぱいになると、自動的に最も古いイベントが次のイベントで置き換えられます。これらのイベントは、読まれた後、通知リストから削除されます。

テキストメッセージ、不在着信、およびページングイベントの場合、通知の最大数は、テキストメッセージで30件、不在着信またはページングで10件です。この最大数は、個々の機能(JOBチケット、テキストメッセージ、不在着信、またはページング)のリスト容量に応じて異なります。



注：  
通知リストが表示されると、スキャンが一時停止します。通知リストを終了すると、スキャンが再開されます。通知リストを終了するには、を押すか、メニュータイマーが切れるまで待ちます。

## 7.26.1

### 通知リストへのアクセス

下記の手順に従って、無線機で通知リストにアクセスします。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - プログラムされた【通知】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。
- 2  を押してメニューにアクセスします。
- 3  または  を押して【おしらせ】に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して必要なイベントに移動します。  を押して選択します。

ホーム画面に戻るには、  を長押しします。

## 7.27

## オートレンジ トランスポンダ システム



オートレンジ トランスポンダ システム (ARTS) はアナログのみの機能で、無線機が ARTS を搭載した他の無線機の通信圏外にあるときに通知するよう設計されています。

ARTS を搭載した無線機は、定期的に信号の送受信を行って、互いに通信圏内にあることを確認します。

無線機は、次のようなステータスを示します。

## 初回警告

トーンが鳴ります。

ディスプレイにチャンネル エイリアスと [エリアない] が表示されます。

## ARTS 通信圏内警告

プログラムされている場合はトーンが鳴ります。

ディスプレイにチャンネル エイリアスと [エリアない] が表示されます。

## ARTS 通信圏外警告

トーンが鳴ります。赤色の LED が素早く点滅します。

ディスプレイに、[けんがい] とホーム画面が交互に表示されます。



注：  
詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

## 7.28

エア接続プログラミング 

ディーラーは、物理的に接続せずにエア接続プログラミング (OTAP) 経由で無線機をリモートから更新できます。さらに、一部の設定も OTAP から設定できます。

無線機が OTAP を実行中のときは、緑色の LED が点滅します。

大量データを受信した場合:

- ディスプレイに [大量データ] アイコンが表示されます。
- チャンネルがビジー状態になります。
- PTT ボタンを押すと、ネガティブ トーンが鳴ります。

OTAP が完了した場合 (構成に依存):

- トーンが鳴ります。ディスプレイに「アップデート リセット」と表示されます。電源がオフになってからオンになり、無線機が再起動します。
- 「リスタート」または「えんきする」を選択できます。「えんきする」を選択すると、前の画面に戻ります。自動再起動が行われるまで、ディスプレイに「OTAP 遅延タイマー」アイコンが表示されます。

自動再起動後に無線機の電源が入った場合:

- 成功すると、ディスプレイに「ソフト アップデートかんりょう」と表示されます。
- プログラミングの更新に失敗すると、トーンが鳴り、赤色の LED が 1 回点滅し、ディスプレイに「ソフト アップデートしっぱい」と表示されます。



注:

プログラミングの更新に失敗した場合は、無線機の電源をオンにするたびに、ソフトウェア更新に失敗したことを示すメッセージが表示されます。ソフトウェア更新失敗の表示を消去するために、最新のソフトウェアを使用して無線機を再プログラムするには、販売店にお問い合わせください。

更新されたソフトウェア バージョンについては、「[ソフトウェア更新情報のチェック ページ 150](#)」を参照してください。

## ユーティリティ

---

この章では、無線機で使用できるユーティリティ機能の操作について説明します。

### 8.1

## キー ロック オプション

この機能を使用すると、無線機を使用していないときに誤ってボタンを押したり、チャンネルを変更したりすることを防ぐことができます。必要に応じて、キー、チャンネル セレクタ ノブのいずれかをロック、またはその両方をロックすることを選択できます。

ディーラーは CPS/RM を使用して、次のいずれかのオプションを設定できます。

- キーをロック
- チャンネル セレクタ ノブをロック
- キーとチャンネル セレクタ ノブをロック

無線機がどのようにプログラムされているかについてはディーラーにお問い合わせください。

#### 8.1.1

## キー ロック オプションの有効化

次の手順は、無線機の構成方法に応じて、キーをロック、チャンネル セレクタ ノブをロック、またはキーをロックとチャンネル セレクタ ノブをロックのオプションのいずれかに適用されます。

プログラムされた [キー ロック] ボタンを押します。

ディスプレイに [ロックずみ] と表示されます。

### 8.1.2

## キー ロック オプションの無効化

次の手順は、無線機の構成方法に応じて、キーをロック、チャンネル セレクタ ノブをロック、またはキーをロックとチャンネル セレクタ ノブをロックのオプションのいずれかに適用されます。

プログラムされた [キー ロック] ボタンを押します。

ディスプレイに [ロックかいじょ] と表示されます。

## 8.2

## スケルチ レベル

信号強度が低い不要な通信や、通常の背景雑音よりも強い雑音があるチャンネルを取り除くために、スケルチ レベルを調整できます。

## 通常

これはデフォルト設定です。



この設定では、不要な通信や背景雑音を取り除かれます。遠隔地からの通信も取り除かれる可能性があります。



注：

この機能は、同じ周波数の市民バンド チャンネルには適用されません。

## 8.2.1

## スケルチ レベルの設定

下記の手順に従って、無線機でスケルチ レベルを設定します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた [スケルチ] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

- 
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 
- 4  または  を押して [スケルチ] に移動します。  を押して選択します。

- 
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して  に移動します。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が  の隣に表示されます。

- ◀ または ▶ を押して [ ] に移動します。 **OK** を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [ ] の隣に表示されます。前のメニューに自動的に戻ります。

### 8.3

## 出力レベル

各チャンネルの出力設定の高低をカスタマイズできます。

#### つよめ

この設定では、かなり離れた場所にある無線機とも交信できるようになります。

#### 少ない

この設定では、近い場所にある無線機と交信できます。



#### 注：

この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルには適用されません。

#### 8.3.1

## 出力レベルの設定

下記の手順に従って、無線機で出力レベルを設定します。

- 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - プログラムされた【出力レベル】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  - OK** を押してメニューにアクセスします。
- ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。 **OK** を押して選択します。
- ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。 **OK** を押して選択します。
- ◀ または ▶ を押して [でんげん] に移動します。 **OK** を押して選択します。
- 以下のいずれか1つの手順を実行します。

- ◀ または ▶ を押して [■■■■■] に移動します。Ⓞ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [■■■■■] の隣に表示されます。
- ◀ または ▶ を押して [■□□□□] に移動します。Ⓞ を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [■□□□□] の隣に表示されます。

---

6 ホーム画面に戻るには、Ⓞ を長押しします。

---

## 8.4 表示輝度の調整

下記の手順に従って、無線機の表示輝度を調整します。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた [輝度] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  - Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

- 2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

- 4 ◀ または ▶ を押して [きど] に移動します。Ⓞ を押して選択します。ディスプレイに進行状況バーが表示されます。

---

- 5 ◀ または ▶ を押して表示輝度を増減します。Ⓞ を押して選択します。設定値は 1 から 8 まで変わります。

---

## 8.5 音声起動送信

音声起動送信 (VOX) により、プログラムされたチャンネルでハンズフリーの音声通話を開始できます。VOX 対応アクセ

サリのマイクが音声を検出すると、プログラムされた期間中、無線機は自動的に送信します。



注：  
この機能は、同じ周波数の市民バンドチャンネルでは利用できません。

次のいずれかの方法で、VOX を有効または無効にすることができます。

- 無線機の電源を切り、もう一度電源を入れて VOX を有効にします。
- チャンネルセレクタノブを使用してチャンネルを変更し、VOX を有効にします。
- プログラムされた **[VOX]** ボタンを使用して VOX のオンとオフを切り替えるか、メニューを使用して VOX を有効または無効にします。
- 無線機の動作中に **PTT** ボタンを押すと、VOX は無効になります。



注：  
この機能のオンとオフの切り替えは、この機能に対応している無線機に限られます。詳細については、ディーラーまたはシステム管理者にご確認ください。

### 8.5.1

## 音声起動送信のオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で音声起動送信 (VOX) のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた **[VOX]** ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 
- 4  または  を押して [VOX] に移動します。  を押して選択します。

- 
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- ◀ または ▶ を押して [On] にします。  
 (OK) を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
- ◀ または ▶ を押して [Off] にします。  
 (OK) を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。



注:

通話許可トーンが有効であれば、トリガワードを発生して通話を開始します。通話許可トーンが終了するまで待ち、マイクに向かってはっきりと話します。詳細については、「[通話許可トーンのオンとオフの切り替え ページ 139](#)」を参照してください。

## 8.6

### ディスプレイ バックライト タイマーの設定

必要に応じて、無線機のディスプレイ バックライト タイマーを設定できます。この設定は、メニュー ナビゲーション ボタンとキーパッドのバックライトにもそれぞれ影響しま

す。下記の手順に従って、無線機でバックライト タイマーを設定します。

#### 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【バックライト】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
- (OK) を押してメニューにアクセスします。

#### 2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。(OK) を押して選択します。

#### 3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。(OK) を押して選択します。

#### 4 ◀ または ▶ を押して [ひょうじ] に移動します。(OK) を押して選択します。

#### 5 ◀ または ▶ を押して [バックライトタイマ] に移動します。(OK) を押して選択します。

LED インジケータが無効になっているため、ディスプレイバックライトとキーパッドバックライトは自動的にオフになります。詳細については、「[LED インジケータのオンとオフの切り替え ページ 140](#)」を参照してください。

## 8.7

# 無線機トーン/アラートのオンとオフの切り替え

着信緊急警告トーン以外の、すべての無線機トーンやアラートは、必要に応じて有効化および無効化できます。下記の手順に従って、無線機でトーン/アラートのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【トーン/アラート】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して【Utilities】に移動します。  を押して選択します。

3  または  を押して【Radio Settings】に移動します。  を押して選択します。

4  または  を押して【トーン/アラート】に移動します。  を押して選択します。

5  または  を押して【ぜん トーン】に移動します。  を押して選択します。

6  を押して、すべてのトーンおよびアラートを無効または有効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が【Enabled】の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が【Enabled】の隣で非表示になります。

## 8.8

## パワー アップ トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機でパワー アップ トーンのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

---

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

---

- 4  または  を押して [トーン/アラート] に移動します。  を押して選択します。

---

- 5  または  を押して [でんげんオン] に移動します。  を押して選択します。

## 6

 を押してパワー アップ トーンを有効または無効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

## 8.9

## トーン/アラートのボリューム オフセット レベルの設定

この機能は、音声ボリュームを基準としてトーンまたはアラートのボリュームを調節できます。下記の手順に従って、無線機でトーンとアラートのボリューム オフセット レベルを設定します。

## 1

 を押してメニューにアクセスします。

## 2

 または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

5 ◀ または ▶ を押して [Vol オフセット] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

6 ◀ または ▶ を押して必要なボリューム オフセットレベルに移動します。  
対応する各ボリューム オフセット レベルのフィードバック トーンが鳴ります。

---

7 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- Ⓚ を押して選択します。必要な音量オフセットレベルが保存されます。
  - ☞ を押して終了します。変更が破棄されません。
- 

## 8.10

### 通話許可トーンのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で通話許可トーンのオンとオフを切り替えます。

1 Ⓚ を押してメニューにアクセスします。

---

2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して [トーン/アラート] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

5 ◀ または ▶ を押して [きょか トーン] に移動します。Ⓚ を押して選択します。

---

- 6  を押して通話許可トーンを有効または無効にします。
- ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されません。
- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
  - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。
- 

## 8.11

## 言語の設定

下記の手順に従って、無線機で言語を設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 
- 4  または  を押して [げんご] に移動します。  を押して選択します。
- 
- 5  または  を押して必要な言語に移動します。  を押して選択します。
- 選択した言語の横に ✓ が表示されます。
- 

## 8.12

## LED インジケータのオンとオフの切り替え

下記の手順に従って、無線機で LED インジケータのオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
-

- 2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

  - 3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

  - 4 ◀ または ▶ を押して [LED ひょうじ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

  - 5 Ⓞ を押して LED 表示を有効または無効にします。ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されます。
    - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
    - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。
- 

## 初期画面のオンとオフの切り替え

手順に従って、初期画面の有効、無効を切り替えることができます。

- 1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

---

  - 2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

  - 3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

  - 4 ◀ または ▶ を押して [ひょうじ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

  - 5 ◀ または ▶ を押して [しょきがめん] に移動します。Ⓞ を押して選択します。
-

## 8.14

## 音声ガイドのオンとオフの切り替え

この機能をオンにすると、ユーザーがゾーンとチャンネルを割り当てたときや、ユーザーがプログラム可能ボタンを押したときに、その内容を音声で知らせます。

ディスプレイに表示されているコンテンツの読み取りが困難な状況で役立ちます。

この音声インジケータは、お客様の要件に応じてカスタマイズできます。下記の手順に従って、無線機で音声ガイドのオンとオフを切り替えます。



注：

音声ガイド機能は、CPS でのみ有効にできます。有効になっている場合、音声変換機能が自動的に無効になります。

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた [音声ガイド] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [おんせいガイド] に移動します。  を押して選択します。

- 5  を押して、音声ガイドを有効または無効にします。
  - 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
  - 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

## 8.15

## 自動通話転送のオンとオフの切り替え

無線機を設定して、音声通話を別の無線機に自動的に転送できます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。
- 4  または  を押して [つうわてんそう] に移動します。  を押して選択します。
- 5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  -  または  を押して転送を有効にします。有効にすると、✓ が [ゆうこう] の隣に表示されます。

-  または  を押して転送を無効にします。無効な場合、✓ が [ゆうこう] の隣で非表示になります。

## 8.16

## カメラ メニュー タイマー

ホーム画面に自動的に切り替わるまでメニューが表示され続ける時間を設定できます。下記の手順に従って、メニュータイマーを設定します。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。
- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4 ◀ または ▶ を押して [ひょうじ] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

5 ◀ または ▶ を押して [タイマー メニュー] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

6 ◀ または ▶ を押して必要な設定に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

## 8.17

### アナログ マイク AGC のオンとオフの切り替え

アナログ マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、アナログ システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ち

ます。下記の手順に従って、無線機でアナログ マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

1 Ⓞ を押してメニューにアクセスします。

---

2 ◀ または ▶ を押して [Utilities] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

3 ◀ または ▶ を押して [Radio Settings] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

4 ◀ または ▶ を押して [Mic AGC-A] に移動します。Ⓞ を押して選択します。

---

5 Ⓞ を押して、アナログ マイク AGC を有効または無効にします。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示され

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。

- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

## 8.18

## デジタル マイク AGC のオンとオフの切り替え

デジタル マイク自動ゲイン制御 (AGC) を使用すると、デジタル システム上で送信するときに、無線機のマイク ゲインを自動的に制御できます。

この機能は、大きい音が出ないようにしたり小さい音をプリセット値まで増幅したりして、音声レベルを一定に保ちます。下記の手順に従って、無線機でデジタル マイク AGC のオンとオフを切り替えます。

- 1  を押してメニューにアクセスします。
- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して [Mic AGC-O] に移動します。  を押して選択します。

- 5  を押して、デジタル マイク AGC を有効化/無効化します。

ディスプレイに次のいずれかの結果が表示されません。

- 有効にすると、✓ が [Enabled] の隣に表示されます。
- 無効な場合、✓ が [Enabled] の隣で非表示になります。

## 8.19

## インテリジェント オーディオのオンとオフの切り替え

定常騒音源と非定常騒音源の両方を含む、周辺環境の背景雑音が多い場合、それに負けないように音量を自動的に調整します。これは受信側の限定機能であり、送信音声は影響を受けません。下記の手順に従って、無線機でインテリジェント オーディオのオンとオフを切り替えます。

1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

- プログラムされた【インテリジェント オーディオ】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
-  を押してメニューにアクセスします。

2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

3  または  を押して [Radio Settings] に移動します。  を押して選択します。

4  または  を押して [インテリジェント オーディオ] に移動します。  を押して選択します。

5 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。

-  または  を押して [On] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [On] の隣に表示されます。
-  または  を押して [Off] にします。  を押して選択します。ディスプレイで ✓ が [Off] の隣に表示されます。

## 8.20

## ハウリング抑制機能のオンとオフの切り替え

この機能により、受信コールでのハウリングを最小限に抑えることができます。下記の手順に従って、ハウリング抑制機能のオンとオフを切り替えます。

- 1 以下のいずれか1つの手順を実行します。
  - プログラムされた【ハウリング抑制】ボタンを押します。以下の手順をスキップします。
  -  を押してメニューにアクセスします。

- 2  または  を押して【Utilities】に移動します。  を押して選択します。

- 3  または  を押して【Radio Settings】に移動します。  を押して選択します。

- 4  または  を押して【ハウリング よくせい】に移動します。  を押して選択します。

- 5 以下のいずれか1つの手順を実行します。

-  を押して、ハウリング抑制機能を有効にします。
-  を押して、ハウリング抑制機能を無効にします。

有効にすると、✓ が【Enabled】の隣に表示されます。無効な場合、✓ が【Enabled】の隣で非表示になります。

## 8.21

## 一般無線機情報

無線機には、一般的パラメータに関する様々な情報が含まれています。

無線機の一般情報は以下のとおりです。

- バッテリに関する情報

- 無線エイリアスと ID
- ファームウェアとコードプラグの各バージョン
- ソフトウェア更新



注:

を押して前の画面に戻ります。ホーム画面に戻るには、 を長押しします。無線機は、無操作タイマーの終了後に、現在の画面を終了します。

### 8.21.1

## バッテリー情報へのアクセス

無線機のバッテリーに関する情報を表示します。

- 1 を押してメニューにアクセスします。

---

- 2 または を押して [Utilities] に移動します。 を押して選択します。

---

- 3 または を押して [きき じょうほう] に移動します。 を押して選択します。

---

- 4 または を押して [バッテリー INFO] に移動します。 を押して選択します。



注:

**IMPRES** バッテリーの場合のみ: バッテリーが IMPRES 充電器で調整が必要なとき、ディスプレイに [バッテリーかいふく] と表示されます。調整処理後、ディスプレイにはバッテリー情報が表示されます。

ディスプレイにバッテリー情報が表示されます。



注:

サポートされていないバッテリーの場合、ディスプレイに [不明なバッテリー] と表示されます。

### 8.21.2

## 無線エイリアスと ID のチェック

- 1 以下のいずれか 1 つの手順を実行します。
  - プログラムされた [無線エイリアスと ID] ボタンを押します。以下の手順をスキップします。

ポジティブ インジケータ トーンが鳴ります。

プログラムされた **【無線エイリアスと ID】** ボタンを押して、前の画面に戻ることができます。

-  を押してメニューにアクセスします。

---

2  または  を押して **【Utilities】** に移動します。  を押して選択します。

---

3  または  を押して **【Radio Info】** に移動します。  を押して選択します。

---

4  または  を押して **【ID】** に移動します。  
 を押して選択します。  
テキスト行の 1 行目に、無線エイリアスが表示されます。テキスト行の 2 行目に、無線機 ID が表示されます。

## ファームウェアとコードプラグのバージョンチェック

1  を押してメニューにアクセスします。

---

2  または  を押して **【Utilities】** に移動します。  を押して選択します。

---

3  または  を押して **【Radio Info】** に移動します。  を押して選択します。

---

4  または  を押して **【Versions】** に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイに現在のファームウェアとコードプラグの各バージョンが表示されます。

### 8.21.3

## 8.21.4

## ソフトウェア更新情報のチェック

この機能は、最新のソフトウェア更新の日付と時刻を表示します。下記の手順に従って、無線機でソフトウェア更新情報をチェックします。

- 1  を押してメニューにアクセスします。

---

- 2  または  を押して [Utilities] に移動します。  を押して選択します。

---

- 3  または  を押して [きき じょうほう] に移動します。  を押して選択します。

---

- 4  または  を押して [ソフト アップデート] に移動します。  を押して選択します。  
ディスプレイに最新のソフトウェア更新の日付と時刻が表示されます。

ソフトウェア更新メニューは、少なくとも 1 つの OTAP が成功した後でのみ使用できます。詳細については、[エア接続プログラミング ページ 129](#) を参照してください。

## 8.22

## 受信信号強度インジケータ

この機能を使用して、受信信号強度インジケータ (RSSI) 値を表示できます。

ディスプレイでは、**[RSSI]** アイコンが右上端に表示されます。**[RSSI]** アイコンの詳細については、「[ディスプレイアイコン](#)」を参照してください。

## 8.22.1

## RSSI 値の表示

ホーム画面で、 を 3 回押してすぐに  を 3 回押します。このすべての操作を 5 秒以内に行います。

ディスプレイに現在の RSSI 値が表示されます。

ホーム画面に戻るには、 を長押しします。

## 8.23

## 正面パネル プログラミング

正面パネル プログラミング (FPP) の特定の機能パラメータをカスタマイズして無線機を効果的に利用できます。

機能パラメータをナビゲートする間、必要に応じて次のボタンを使用します。

左右のナビゲーション ボタン

オプションを左右にナビゲートしたり、値を増減するために押します。

メニュー/OK ボタン

オプションを選択したり、サブメニューに入るために押します。

戻る/ホーム ボタン

短く押すと、前のメニューに戻ったり、選択画面を終了することができます。

長く押すと、いつでもホーム画面に戻ります。

## 認定アクセサリ リスト

Motorola Solutions では、お使いの無線機の生産性を向上させるアクセサリのリストをご用意しています。

表 7 : アンテナ

部品番号	説明
PMAD4116_	VHF、144 ~ 165MHz、ヘリカル アンテナ
PMAD4117_	VHF、136 ~ 155MHz、ヘリカル アンテナ
PMAD4118_	VHF、152 ~ 174MHz、ヘリカル アンテナ
PMAD4119_	VHF、136 ~ 148MHz、スタビー アンテナ
PMAD4120_	VHF、146 ~ 160MHz、スタビー アンテナ
PMAD4133_	VHF、360 ~ 400MHz、スタビー アンテナ

部品番号	説明
PMAD4136_	VHF、360 ~ 380MHz、スタビー アンテナ
PMAD4139_	VHF、350 ~ 400MHz、ホイップ アンテナ
PMAE4069_	UHF、400 ~ 450MHz、スタビー アンテナ
PMAE4070_	UHF、440 ~ 490MHz、スタビー アンテナ
PMAE4071_	UHF、470 ~ 527MHz、スタビー アンテナ
PMAE4092_	UHF、480 ~ 527MHz スタビー アンテナ キット
PMAE4079_	UHF、403 ~ 527MHz、スリム ホイップ アンテナ

表 8 : バッテリー

部品番号	説明
PMNN4415_	Core NiMH、1400mAh IP56 バッテリー

部品番号	説明
PMNN4416_	Core Slim Li-Ion、1600mAh IP56 バッテリー
PMNN4417_	IMPRES Li-Ion Slim、1600mAh IP56 バッテリー
PMNN4418_	IMPRES Li-Ion Non-FM、2250mAh IP56 バッテリー
PMNN4435_R	Li-Mn 1400mAh 耐低温 -30°C 防水 IP67 バッテリー
PMNN4463_	バッテリー Li-Ion、IP57 2050mAh
PMNN4488_	振動ベルト クリップ用 IMPRES Li-Ion、3000mAh、IP68 バッテリー
PMNN4490_ <sup>7</sup>	IMPRES Li-Ion、2900mAh TIA4950 HAZLOC IP68 バッテリー
PMNN4491_	IMPRES Slim Li-Ion、2100mAh IP68 バッテリー
PMNN4493_	IMPRES Li-Ion、3000mAh IP68 バッテリー、低電圧

<sup>7</sup> は XiR P6620i のみに適用されます。

部品番号	説明
PMNN4543_	Core Li-Ion、2450mAh IP68 バッテリー
PMNN4544_	IMPRES Li-Ion、2450mAh IP68 バッテリー

表 9 : キャリー デバイス

部品番号	説明
PMLN4651_	2 インチ ベルト幅ベルト クリップ
PMLN5610_	2.5 インチ交換レザー スイベル ベルト ループ
PMLN5611_	3 インチ交換レザー スイベル ベルト ループ
PMLN5863_	リミテッド キーパッド無線機用 3 インチ固定ベルト ループ付きハードレザー キャリー ケース

部品番号	説明
PMLN5865_	リミテッド キーパッド無線機用 3 インチ スイベル ベルト ループ付き ハード レザー キャリー ケース
PMLN5867_	リミテッド キーパッド無線機用 2.5 インチ スイベル ベルト ループ付き ハード レザー キャリー ケース
PMLN5869_	リミテッド キーパッド無線機用 3 インチ固定ベルト ループ付きナイ ロン キャリー ケース
PMLN7008_	2.5 インチ ベルト幅ベルト クリッ プ
PMLN7296_	2.5 インチ ベルト幅振動ベルト ク リップ
RLN6486_	レザー無線機ストラップ
RLN6487_	レザー無線機ストラップ、サイズ XL
RLN6488_	防振レザー無線機ストラップ

表 10 : 充電器

部品番号	説明
HKVN4036_	IMPRES バッテリ フリート管理ラ イセンス キー
NNTN7392_	IMPRES バッテリ リーダー
NNTN7616_	IMPRES 車載充電器
NNTN7677_	IMPRES バッテリ フリート管理マ ルチユニット充電器インタフェース ユニット
NLN7967_	IMPRES マルチユニット充電器用 壁面取り付けブラケット
NNTN8045_	IMPRES バッテリ フリート管理シ ングルユニット充電器インタフェー ス ユニット
NNTN8224_	電源付き標準シングルユニット充電 器、ロシア、中国
NNTN8274_	電源付き標準シングルユニット充電 器、スイッチ モード - 21W、英国/ 香港

部品番号	説明
NNTN8276_	電源付き標準シングルユニット充電器、スイッチモード-21W、日本
NNTN8277_	電源付き標準シングルユニット充電器、スイッチモード-21W、韓国
NNTN8279_	拡張電源付き標準シングルユニット充電器、インド
NNTN8525_	携帯用充電器、電圧調整型車載充電器アダプタ付き急速充電器、カスタム充電器台、取り付けブラケット、コイルコード
WPLN4211_	IMPRES マルチユニット充電器、台のみ
WPLN4217_	IMPRES マルチ ユニット充電器、韓国プラグ
WPLN4218_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、台のみ
WPLN4224_	IMPRES ディスプレイ付きマルチユニット充電器、韓国プラグ
WPLN4226_	IMPRES シングルユニット充電器、台のみ

部品番号	説明
WPLN4232_	IMPRES モード切り替え電源付きシングル ユニット充電器
WPLN4255_	IMPRES シングルユニット充電器
WPLN4256_	IMPRES シングルユニット充電器

表 11 : 小型イヤホンとイヤピース

部品番号	説明
AARLN4885_	受信限定カバー付きコイル コード型イヤホン、リモート スピーカ マイク用
PMLN4620_	リモート スピーカ マイク用 D シェル受信限定イヤピース (1 サイズ)
PMLN5727_	イヤピース インライン マイク/PTT スイベル、MagOne
PMLN5732_	ブーム マイク付きイヤセット、MagOne
PMLN5733_	インライン マイク/PTT 付きイヤホン、MagOne

部品番号	説明
PMLN6757_	インライン マイクおよび PTT 付き 調節可能 D スタイル
PMLN7396_	リモート スピーカ マイク付き調節 可能受信限定イヤピース
PMLN7560_	透明チューブ付き受信限定イヤピ ース
RLN4941_	リモート スピーカ マイク用透明チ ューブおよびゴム製耳栓付き受信限 定イヤピース
RLN6511_	クリア EP7 -小型聴覚保護具 [ソニ ック ディフェンダー] ウルトラ イ ヤプラグ、28dB ノイズ抑制
RLN6512_	クリア EP7 -中型聴覚保護具 [ソニ ック ディフェンダー] ウルトラ イ ヤプラグ、28dB ノイズ抑制
RLN6513_	クリア EP7 -大型聴覚保護具 [ソニ ック ディフェンダー] ウルトラ イ ヤプラグ、28dB ノイズ抑制
WADN4190_	リモート スピーカ マイク用受信限 定フレキシブル イヤピース

表 12 : ヘッドセットとヘッドセット アクセサリ

部品番号	説明
PMLN5731_	ヘビー デューティ ヘッドセット、イ ンライン PTT による雑音消去
PMLN6635_	インライン プッシュアウトーク/ブ ーム マイク付き軽量オーバー ザ ヘッド ヘッドセット シングル マフ
PMLN6759_	テンブル トランスデューサ
PMLN6760_	次世代ビハインド ザ ヘッド ヘビー デューティ ヘッドセット スリム
PMLN6761_	超軽量ヘッドセット、MagOne
PMLN6763_	次世代ビハインド ザ ヘッド ヘビー デューティ ヘッドセット、スリム TIA 4950
PMLN7464_	オーバー ザ ヘッド ヘビー デュー ティ ヘッドセット、スリム
PMLN7465_	オーバー ザ ヘッド ヘビー デュー ティ ヘッドセット/TIA、スリム

表 13 : リモート スピーカ マイク

部品番号	説明
PMMN4071_	IMPRES リモート スピーカ マイク大、3.5mm ジャックによるノイズキャンセリング
PMMN4073_	IMPRES リモート スピーカ マイク小、3.5mm ジャック付き
PMMN4075_	リモート スピーカ マイク小、緊急ボタンなし、IP57
PMMN4076_	リモート スピーカ マイク小、3.5mm ジャック付き
PMMN4108_	IMPRES リモート スピーカ マイク Windporting、IP67

表 14 : 監視アクセサリ

部品番号	説明
PMLN6754_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 3 線式監視キット、黒

部品番号	説明
PMLN6755_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 3 線式監視キット、ベージュ
PMLN7269_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 2 線式監視キット、黒
PMLN7270_	クイック切断アダプタおよびクリアな音響管付き 2 線式監視キット、ベージュ

表 15 : その他のアクセサリ

部品番号	説明
HLN6602_	ユニバーサル チェスト パック
HLN9985_	大型キャリア ストラップ付き防水バッグ
NTN5243_	調整可能携帯用ナイロン ストラップ (黒、キャリア ケースの D リングに取り付け)
RLN4295_	小型クリップ、肩章ストラップ
RLN4570_	ブレイクアウェイ チェスト パック

部品番号	説明
RLN4815_	ユニバーサル無線機パックとユーティリティ ケース、ファニー パック
1505596Z02	RLN4570_ と HLN6602_ 用交換ストラップ
4280384F89	ユニバーサル無線機パック、延長ベルト
4200865599	レザー ベルト、1.75 インチ幅
0104058J40	ダスト カバー